

雪の音で

ゆき

おと

Vol.130

平成29年6月15日発行



巻頭言	北陸新幹線開業効果の持続・深化	富山県 土木部長 加藤昭悦	1
特集	ながおか「北」の玄関 長岡北スマートIC開通!	長岡市 土木部 土木政策調整課	2
随想	家族のあり方	水野 晶	6
寄稿文	地質学から見た平安越後古図 -砂丘と平野の成り立ちからその真偽をさぐる-	国立研究開発法人産業技術総合研究所 元客員研究員 鴨井幸彦(株村尾技建 技師長)	8
ちょっと気になる コーナー	東京都なのに亜熱帯!	中越トラベル(朝日交通(株)観光部) 常務取締役 山崎康裕	12
お知らせ	平成29年度(第35回)北陸支部定時総会	事務局	14
お知らせ	平成28年度「独占禁止法等遵守に関する講習会」報告	独占禁止法等の遵守に関する特別部会	16
	北陸支部活動報告	事務局	18
	会員名簿 各部会・委員会委員名簿	事務局	30
	編集後記	長田宏之	

[題字]

元北陸地方建設局長
廣瀬利雄 揮毫

[表紙]

タイトル あやめ香る新発田
撮影地 新潟県新発田市
撮影者 猪俣孝之

[裏表紙]

タイトル 清らかなる新谷川
撮影地 新潟県東蒲原郡阿賀町
撮影者 猪俣孝之

巻 頭 言

北陸新幹線開業効果の持続・深化

富山県 土木部長
加藤 昭悦



本県はこれまで全国的にも災害の少ない県と言われてきましたが、本年1月、南砺市利賀村上百瀬地内において人家等9棟が被災し、県道が通行止めとなるなど、大規模な土砂災害が発生しました。貴協会の皆様には、災害協定に基づき、迅速な対応をいただきました。皆様のご尽力により、速やかに国の災害関連緊急砂防事業の採択を受け、土砂流出対策工事の早期着手につなげることができました。この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

さて、北陸新幹線開業から早や2年と3か月が経過しましたが、乗車人員は開業前の3倍近くの高い水準での利用が続くとともに、観光地での入込客数の増加、企業の本社機能の一部や研究開発拠点の移転・立地、大型商業施設や物流拠点の進出など、県内各地で様々な開業効果が現れています。

特に、富山駅から徒歩9分の位置にある富山県富岩運河環水公園には世界で最も美しいと評判のスターバックスコーヒーなどが立地し、運河クルーズをはじめ、一年を通じて様々なイベントが開催される県内有数の観光スポットとなっています。北陸新幹線の開業もあり、平成19年には年間70万人だった公園利用者が、昨年度は2倍以上の年間157万人を記録しました。8月26日には、園内西地区に「富山県美術館」が全面開館する予定であり、今後、さらに多くの皆様にご利用いただけるものと期待しております。

また、富山湾は、平成26年10月にユネスコが支援する「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟が全会一致で承認されました。この加盟を契機として、富山マラソン、富山湾岸サイクリングの充実やクルーズ客船誘致、マリンスポーツ等の振興（国内最大規模のヨットレース「タモ

リカップ富山大会」の開催など）、新湊マリーナの拡張整備など、富山湾の魅力をさらに高める様々な取り組みを推進しているところでありますが、この5月には大型船舶が利用できるクレーンやクラブハウスが完成するなど、様々なプロジェクトが目白押しであり、本県が新しい未来に向けて大きく飛躍するための絶好のチャンスを迎えています。

そこで、この新幹線開業効果と地方創生戦略の2つを追い風として最大限に活かしながら「とやま新時代」にふさわしい県づくりを進めていくため、このたび、総合計画の見直しに着手いたしました。「活力」「未来」「安心」の3つを基本政策の柱とし、3つの基本政策を支える「人づくり」を重要施策と位置付け、知事の政策集に掲げた100の政策を踏まえながら、時代の変化や新たな重要課題に対応した政策を盛り込むこととしています。

県としましては、新計画においても、観光振興や交流人口の拡大、産業・地域の活性化など、各般の施策や県民の安全・安心な暮らしの基盤となる社会資本整備を着実に進め、東海北陸自動車道の早期全線4車線化や、日本海側の総合的拠点港である伏木富山港のさらなる機能強化を図るとともに、老朽化が進む公共土木施設の計画的な維持管理や、ハード・ソフト両面から治水対策や土砂災害対策、地震・津波対策など災害に強く日本一安全・安心な県づくりを推進してまいりたいと考えております。

終わりに、建設コンサルタンツ協会の会員の皆様方におかれましては、「とやま新時代」にふさわしい県づくりを進めるため、今後とも、ご支援とご協力をお願いするとともに、貴協会の限りないご発展と、会員の皆様方のますますのご活躍、ご健勝を心からお祈り申し上げます。

ながおか「北」の玄関 長岡北スマートIC開通！

長岡市 土木部 土木政策調整課



長岡北スマートIC開通式典 (H29.3.25)

1. はじめに

本市は、新潟県のほぼ中央に位置し、市町村合併により、個性豊かな11の地域が一つになった人口約27万4千人の地方都市です。市内の中央部を日本一の大河信濃川が流れ、その流域の平野部、東山連峰や西山丘陵地などの山間地、さらには日本海沿岸など、多様な地形が特徴です。

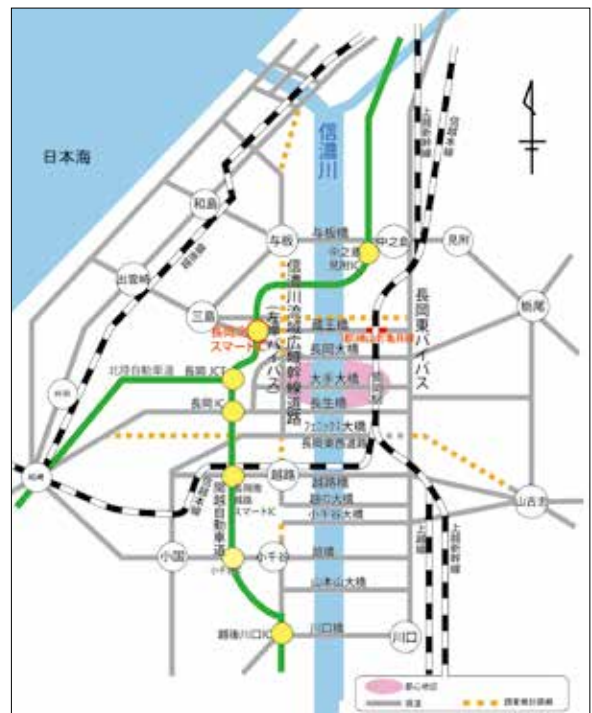
市内中心を流れる大河信濃川の恵みを受けて今日まで発展を続けてきましたが、一方で、幅約1kmの川が市街地を二分するという宿命を受けて、川東と川西が一体となった調和のとれた都市を目指して街づくりを進めてきました。

2. 本市の道路構想

本市の道路網は、長岡東バイパスと信濃川流域広域幹線道路（左岸バイパス）を南北軸として配置し、これに信濃川橋りょうを含む幹線道路を東西軸として接続し、信濃川にはしごを架けるような「ラダー（はしご）型広域幹線道路網」の構築を進めています。

平成25年には長岡東西道路フェニックス大橋と信濃川左岸の左岸バイパスが同時に開通し、信濃川渡河部の交通容量拡大と、交通分散化により、他橋の渋滞が劇的に解消しました。

また、平成29年3月25日には市街地北部において、踏切部の渋滞解消等を目的に整備された（都）横山町亀貝線と、ながおか北の玄関口として市内2つ目のスマートICとなる長岡北スマートICが同時開通しました。



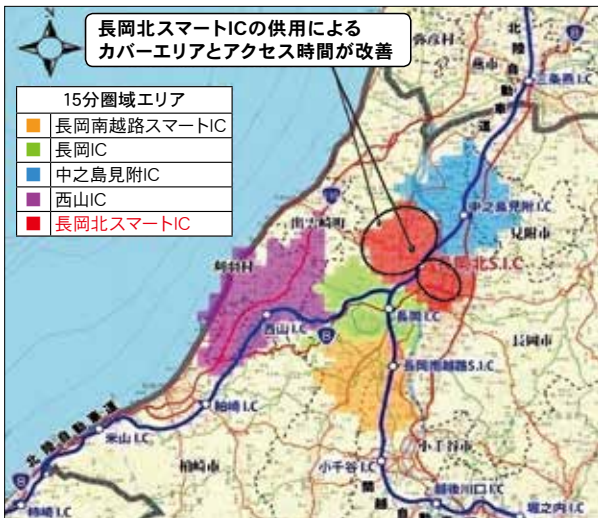
ラダー型広域幹線道路網

3. 長岡北スマートICについて

1) 長岡北スマートICの事業概要

- 位置 北陸自動車道 長岡JCT～中之島見附IC間
- 接続形式 本線直結型（一旦停止）
- 利用形態 上下線ともに乗降り可能
- 利用時間 24時間
- 運用車種 ETC機器搭載車全車種
- 計画交通量 2,300台/日
- 期待される効果

- ・ インターチェンジ空白域から高速道路へのアクセス時間を短縮させ、利便性の向上を図る
【15分以内に高速道路へ到達できる人口が約4.1万人増加】
- ・ 長岡鉄工団地や北部工業地帯など工業集積地の最寄りインターチェンジとなり企業活動を支援
【北部工業地帯から首都圏への物流が約6分短縮】
- ・ 川西北部地域（三島、与板、和島、寺泊）へのアクセス性が向上し観光振興の促進
【寺泊地域へのアクセスが約6km（約9分）短縮】
- ・ 救急医療搬送の効率化、定時性の確保により医療格差を是正



長岡北スマートIC供用後利用圏域



長岡北スマートIC整備効果（物流効率化）



上空から長岡北スマートICを望む（H29.3）



【三島】三島の里山



【三島】三島郷土資料館



【与板】兼続お船ミュージアム



【与板】楽山苑



【和島】良寛・貞心尼とはちすば通り



【和島】道の駅 良寛の里 わしま



【寺泊】魚の市場通り



【寺泊】海（海洋資源）

川西北部地域の観光スポットと地域の宝



長岡まつり大花火大会

2) (都) 榎山町亀貝線について

長岡市榎山町地内の国道352号を起点とし、蔵王橋を経由後、長岡東バイパス亀貝ICに至る都市計画道路です。そのうちの未整備区間930mについて、平成18年から新潟県が信越本線稲葉立体交差事業着手しました。鉄道により分断された市街地間の交通渋滞の緩和等を図り、蔵王地区と長岡東バイパスや北陸自動車道長岡北スマートICへの東西方向の円滑な交通の確保を図ります。

また、事業区間周辺には、市内最大の北部工業地帯や、長岡工業導入団地等の産業拠点が立地しており、これらの産業拠点へのアクセス向上により、物流の効率化を支援します。



東から跨線橋を望む



立体交差部上空から蔵王地区を望む



信越本線と立体交差の様子

3) 開通式典の開催

平成29年3月25日(土)に長岡北スマートIC建設促進協議会(会長:長岡市長)と新潟県による『長岡北スマートIC・(都) 榎山町亀貝線開通式典』を執り行いました。

屋内式典(会場:アオーレ長岡)では、磯田市長、米山知事の式辞に続き、来賓各位から祝辞をいただきました。屋外式典(会場:長岡北スマートIC、(都) 榎山町亀貝線特設会場の2箇所)では、テープカット、くす玉開披、走り初めを執り行い、来賓・関係者約170名の他に一般観覧者を含め、多くの皆様と開通を祝いました。



式辞を述べる磯田長岡市長と米山新潟県知事



川西北部地域のゆるキャラ



一般観覧者の方々(長岡北スマートIC特設会場)



走り初めの様子（長岡北スマートIC特設会場）



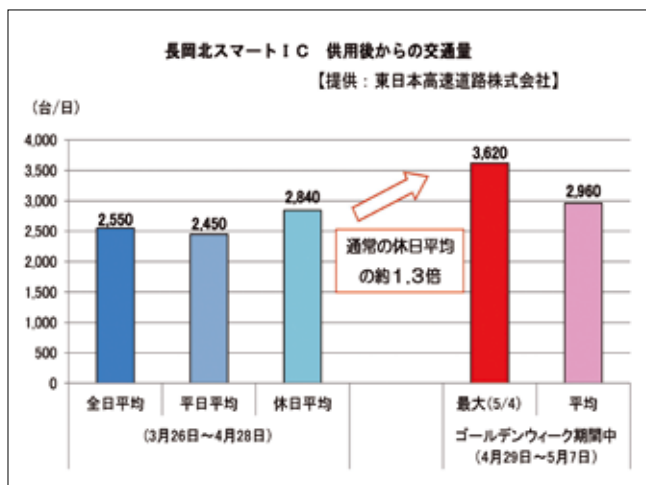
テープカットとくす玉開披（（都）横山町亀貝線特設会場）

4) 開通後の利用状況

長岡北スマートICの利用状況は、開通から40日で10万台に到達しました。これは、新潟県内10箇所あるスマートICの中で最速です。計画交通量（2,300台/日）を上回り、多くの皆様から利用いただいています。

特に、ゴールデンウィーク期間中の5月4日には約3,620台の利用があり、通常期の休日平均（約2,840台）の約1.3倍の利用がありました。

休日、行楽期に多く利用いただいていることから、長岡「北」の玄関口として観光交流の促進が図られています。



長岡北スマートIC供用後からの交通量

5. 今後の展望

長岡東西道路フェニックス大橋や（都）横山町亀貝線の開通により、ラダー型広域幹線道路網の東西軸を担う道路の強化が図られました。

しかし、大規模商業施設や病院、文化施設が集積している信濃川左岸側の南北軸は、基軸となる幹線道路が少なく、慢性的な渋滞が生じていることから、左岸バイパスの南北延伸は必要不可欠です。

北側は長岡北スマートIC、南側は長岡南越路スマートICをつなげることで、長岡の都心地区のラダー型広域幹線道路網が概成し、北、中央、南には高速道路のインターチェンジが配置されるという利便性の高い都市交通が実現します。

また、新潟県の中越地域の中心都市として、今後も地域全体の発展を牽引していく必要があります。そのために、関東、北陸、東北方面とつながる地理的優位性を活かした広域道路網を構築し、さらなる交流の拡大を目指します。

6. おわりに

人口減少、少子高齢化という大きな課題に各地方自治体は直面している中、さらに住みよい、元気なまちにしていける必要があります。

今後も持続的に発展し、安全安心に暮らせるまちになるためには、地域間を結ぶことで連携強化を図り、有事の際の避難を可能にする道路整備が必要不可欠です。

長岡に受け継がれた市民協働の伝統をもとに、市民の皆様と共に知恵を出し合い、子供から高齢者まで快適な住みよいまち、地域の宝を存分に活かし、来る人にとっても魅力のあるまちとなるよう、「日本一のふるさと」を創っていきます。



長岡北スマートIC建設現場にて説明する筆者T (H28.10)

随想 家族のあり方

水野 晶



柔らかい日差しが窓から入り床の上に形作る光の矩形が、季節の移り変わりと共にいつの間にか微妙に変化していることに気づく。窓を開ければ、涼やかな風が部屋の中を駆けめぐる。どこまでも青く澄んだ空に、郭公の鳴き声が高く響き渡る。一つの季節が終わり、また新しい季節がやって来る。その予感に胸がときめく。

春と夏の境目。6月はそこここに光が溢れ、きらきらと輝くような美しい季節だ。吹き抜ける爽やかな風に、来る新しい季節の密やかな匂いや音が紛れ込んでいる。光も風も手に取ることはできないが、体全体で感じるができる。

知人から転居通知が来たのは、今年の春だった。横浜の学校司書になることができたので、単身赴任することになり、初めての一人暮らしを楽しんでいるというものだった。彼女の夫は勤務の都合で一年後に合流するという。彼女の年齢が幾つか正確には分からないが、子供達はそれぞれ結婚していて孫もいる。一般的には仕事をリタイヤして、のんびり過ごそうかというような年齢だと思う。こちらに家も持っているのに、これからわざわざアパート暮らしとは、大胆な選択だと思わずにはいられない。

彼女は子供達がそれぞれ東京と神奈川に暮らしているので、母親が近くににいるというのは何かと便利なのだと言う。そうだろう。確かに、子供のいる若い夫婦は、近くに気楽に子供を預けることができたり、手伝ってもらえる肉親、特に母親がいるのは、どんなにか助かるに違いない。また、彼女にとっても、孫の成長が間近に見られるのは、代えがたい喜びだろう。

それでも、保証された安穏な生活を捨て去り、新天地に単身乗り込むには相当な覚悟が必要であったと思う。更に、新しい職場に慣れるまで、肉体的にも精神的にも多

大なエネルギーが必要になることだろう。考えただけで、私など及び腰になるところである。

実は、我が家も息子夫婦は東京に住み、夫は単身赴任で東北、私が一人で新潟に住んでいる。元々、転勤族だった。家族三人で夫の赴任地へ引っ越すこと7回。ついに息子が小学校高学年になり、もう引っ越しは嫌だと宣言してから、夫だけが単身赴任する形となり、息子が高校卒業後家を出てからは、それぞれが離れて生活するという家族の形態が長く続いている。

一人暮らしもそう悪くはない。疲れて食事を作りたくなければ、外で済ませることもできるし、毎食同じ献立であろうと、部屋が散らかっていようと、文句を言う人はいないのだから、仕事を持っている忙しい身にはむしろ面倒くさくなくてよいとさえ思う。そしてそれは、夫にも言えるだろう。お互いに気ままな単身生活と週末夫婦は、私達にはフィットしている生活スタイルだった。

私は来年定年退職する。一時は早めに退職して、夫が働く東北に移住するということも考えていたのだが、いざとなるとなかなか踏み切れないものだ。持ち家はどうかという話になり、家などたかだか器でしかないのだから、処分してもいいのではと思っていたが、意外なところから反対された。なんと息子が自分の育った家がなくなるのは嫌だと言いだした。帰る家がなくなるのは寂しいと言う。思ってもいない言葉だった。十歳まで家族でいろいろ

な土地で暮らしてきて、彼の思い出はそれぞれの土地にあると思ってきた。その後のたった八年しか新潟の家に住んでいないのに、そんなに愛着があるものなのかと少々驚いた。

たかが家、されど家。確かに、アパート暮らしが長かった私達にとって、初めての持ち家だった。設計から関わり、壁紙を決め、照明器具やカーテンを選び、家具を配置した。狭いながら、庭には自ら購入し自分たちで植えた樹木も大きく育っている。ご近所の方々とも、それなりの関係を築いてきた。そのすべてが家族の歴史であり財産である。それらを土地と共に手放すのは確かに勇気がいる。一度手放してしまえば、もう二度と手に入れることはできないだろう。

息子が感じている家がなくなるということに関する哀切の情は、実は私自身の心の奥深いところにも存在している感情でもある。ただ、そういうことに押し流されては、大きな決断はできないと思うのだった。数年前に夫の定年退職後、子供達も独立したので、将来の介護生活を考えて家を処分して、高齢者向けのマンションに引っ越した夫婦の話の本を読んだ。子供達に迷惑を掛けたくないと考え、自分達で決断できるうちにと、六十代前半の決断だった。その時は、随分思い切った決断だと思ったものだ。あと数年で、私達も彼らが決断した年齢になる。

退職という人生の大きな節目は、将来のために何らかの大きな決断をするときなのかも知れない。家族のあり方は、現代に置いては随分多様化してきている。仕事というしがらみがなくなれば、いろいろな選択肢が出てくる。自由に住む場所が選べるのは、素晴らしいことだ。家族のために共に協力できるように近くに移り住むというのも一つの選択なら、家族に迷惑を掛けないために独立した老後を目指すのも、また一つの選択なのだ。どちらの選択も家族を思いながらも、対極にある。

さてさて、一年後の私達家族の選択はどうなるのだろうか。住み慣れた家や土地を離れて、夫や息子夫婦が住む新たな土地に移住するというのは、やはり難しい決断かも

知れないと思う。新潟に住みながら、夫の赴任地や息子夫婦の所を適当に行き来するくらいがせいぜいだろう。

いざとなると自分が生まれ育ち、家族の歴史がいっぱい詰まったこの土地を離れるのは忍びがたい気がする。海があり、水田が果てしなく広がる豊かな土地から取れる新鮮な水産物や農産物には魅力がある。ばらばらに住んでいる家族が年に何度か集い、この土地で取れた食べ物を一緒に口にすれば話も弾むことだろう。家族がそれぞれの土地に住み時々顔を合わせるといっても、一つの家族のあり方ではなかろうか。大きな決断はなく、このままの我が家流で落ち着きそうである。

日本海側と太平洋側では、同じ海のある街でも全く違うことだろう。気候風土が違えば、文化やしきたりも違い、そこに育つ動植物も違うのだろう。新潟の海辺近くの松林には郭公の巣があちこちにありこの季節にはその美しい声が聞ける。知人の家は海岸沿いの松林の近くにあった。横浜でも郭公の声が聞けるのだろうか。しんと静まりかえった学校の図書室でひとり本の整理をしているとき、郭公の鳴き声が耳に入れば新潟の家を懐かしく思い出すことだろう。もうそろそろ新生活に慣れたであろう知人に手紙を書こうと思うのだった。

プロフィール 水野 晶

- 1958年 新潟市生まれ
 - 1987年 文芸たかだ井東汎賞受賞
 - 1991年 新潟日報文学賞受賞
 - 1993年 松岡譲文学賞受賞
 - 2013年 にいがた市民文学賞受賞
-

地質学から見た平安越後古図

—砂丘と平野の成り立ちからその真偽をさぐる—

国立研究開発法人産業技術総合研究所 元客員研究員 鴨井幸彦 (株)村尾技建 技師長

1. はじめに—越後人を魅了する魅惑の古図

今日、越後古図と呼ばれる古地図が何種類か残されています。とりわけ康平3(1060)年と寛治3(1089)年の年紀を持つ「康平図」・「寛治図」がよく知られています(図1)¹⁾。これらは、合わせて平安越後古図とも呼ばれます²⁾。非常に有名な図なので、ご存知の方も多いと思います。しかし、平安時代に作られたという実物は見つかっておらず、現在見られるのは書き写されたものばかりで、それも江戸時代後期をさかのぼるものはありません。その数何と数十点、中には平成になってからの写しもあるということです。

こうした古図は、越後に限らず、奈良時代の養老年間(8世紀初め)の作とされる尾張古図をはじめ、浪速古図、江戸古図など各地で知られ、どれも海が内陸に深く入り込むといった共通点をもっています。江戸時代には、各地の有識者の間に、比較的近い時代までそれぞれの海岸平野の多くの部分は海であったという考えがあったとされます³⁾。

おそらくは、その土地土地で、昔の姿を想像して創作されたものと考えられます。実際、文化13(1816)年の記録

で、玉井神社の社内から出たとされる尾張古図は、名古屋七間町三丁目に住んでいた指物師(家具職人)の文左衛門が憶測で書いたものであることが明かされています⁴⁾。

こうした古図は、現在では偽図と見なされ、顧みられることはほとんどないようですが、なぜか新潟では熱心なファンが多く、根強い人気があります。平成26年2月8日から3月23日にかけて開催された新潟県立歴史博物館の冬季企画展「謎の古地図 新潟平野が海の底か!」は、多くの人を集めました。また、各種パンフレット類で引用されることが多いのは、目にした人の反応が良いからでしょう。

この古図の真偽をめぐって、かつて「古志路」誌上などで激しい論争が戦わされましたが、現在では江戸時代後期に作られた偽図という見方がほぼ定着しています^{2) 5) 6)}。しかし、偽図の可能性が高いと前置きして紹介しても、平安時代の越後平野はこうだったのかと、信じ込む人が後を絶ちません。約50年前の学術誌に、「越後平野はかつては内湾であり、約900年前までは海であった」として紹介されたことがあり、その根拠とされたふしがあります⁷⁾。

そこで、ここでは地質学的な視点から、この平安越後古図の真偽にせまってみようと思います。

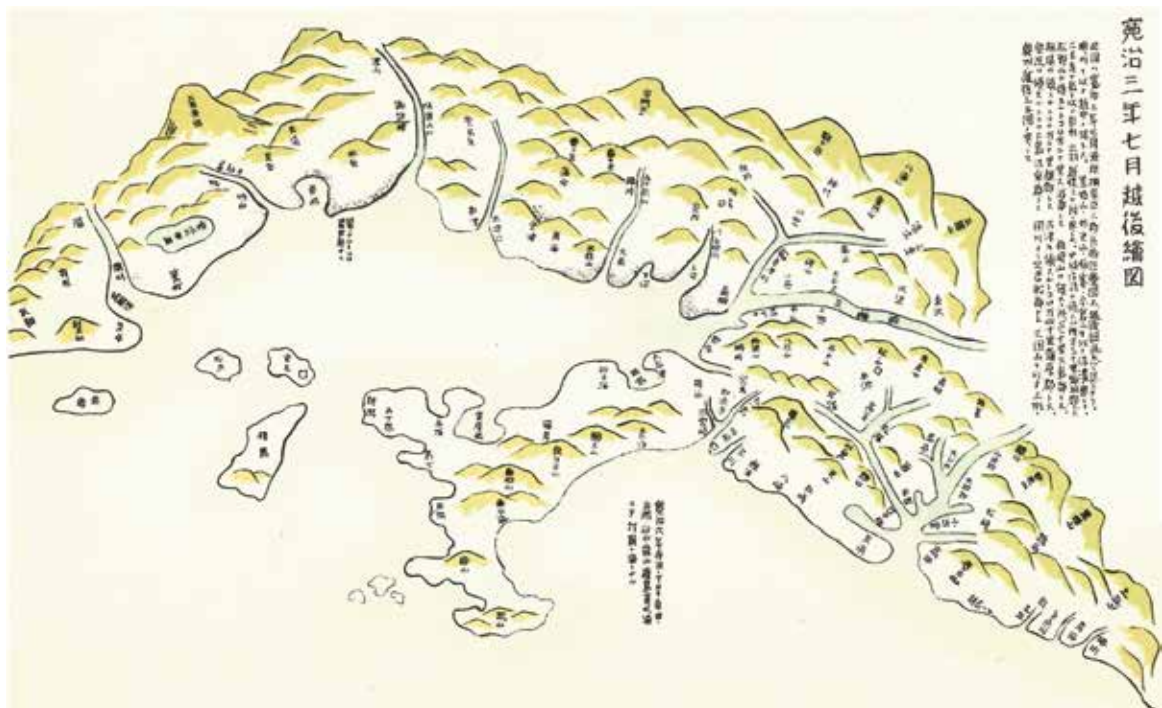


図1 寛治図(文献1)より転載

2. 平安越後古図の特徴とその真偽

平安越後古図でもっとも目を引く大きな特徴は、海が内陸まで入り込み、内湾を形成しているという点です。海域は長岡市街地付近にまで及んでいます。そして、この点がこの図の真偽をめぐる上で重要なポイントと考えられます。

堀健彦は、康平図(図2)が寛治図の誤りを正し、多くの地名を追加していることから、寛治図をもとに康平図が創出されたと推定しています⁸⁾。確かに、年代の古い康平図の方が、絵柄がより精細になっており、不自然な感じがします。

一方、阿賀野市(旧安田町)出身の偉大な歴史地理学者 吉田東伍は、その大著「大日本地名辞書」で寛治図を偽図と断じています(吉田東伍の慧眼は、日本三代実録の貞観地震の記事にある城下とは陸奥国の国府の多賀城下のことであり、貞観津波が多賀城下を破壊して末の松山の手前まで到達したことを見抜いた点にも表れています。約1,000年前のこの津波が、東日本大震災の浸水域に匹敵する規模であったことがわかり、改めてその先見性が再評価されています)。また、近年話題となっている新潟市東区の牡丹山諏訪神社古墳発見のきっかけとなった埴輪片を採集した郷土史家、金塚友之丞も否定派でした。

これに対し、肯定派は現在ではきわめて少数派と見られます。しかし、やっかいなのは、この少数派の中になぜか論理性や客観性を何よりも重視するはずの自然科学者が含まれている⁹⁾という点です。

さて、図3は地質学者の西田彰一と岩石学者の茅原一也により初めて作られた越後平野の形成過程を示す概念図です¹⁰⁾。この図を見てまず気づくことは、約1万年前の

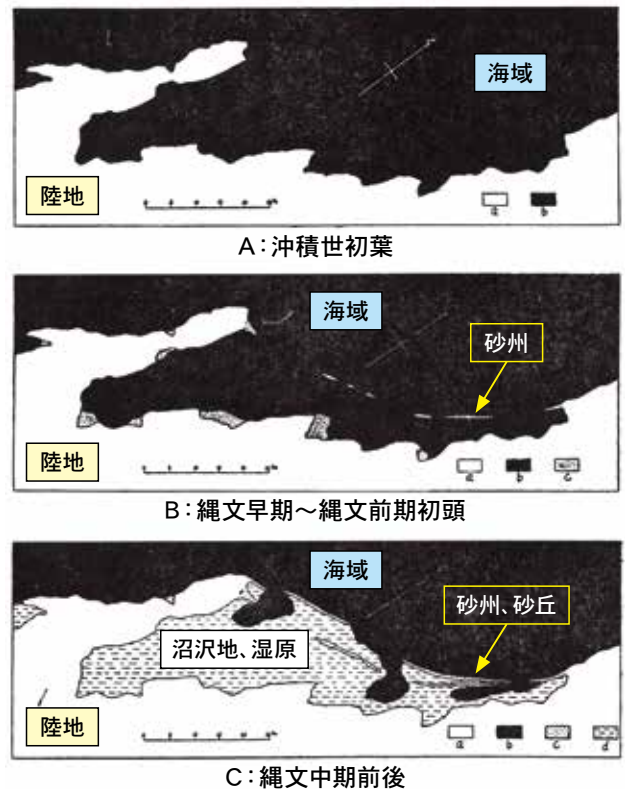


図3 越後平野の古地理的変遷概念図(文献10)に加筆; 現在の知見で見るとかなり大雑把で不正確。沖積世という用語は、現在では使用されない。また、縄文海進時に海域が及んだのは旧吉田町～燕市付近まで。

越後平野の大部分が内湾になっていて、平安越後古図によく似ているということです。上下を逆にするとそっくりです。地質学や自然地理学の研究者の一部には、平安越後古図が科学的に見て何らかの真実を反映していると評価する人がいますが、その理由はどうやらこの辺にあると考えられます。



図2 「温古の葉」34篇の号外として出版された康平図(堀編、2008)⁵⁾より引用

3. 新潟砂丘列の形成年代と越後平野の成り立ち

ところで、海岸に面した平野の多くは、入江が河川の運搬する土砂によって埋め立てられて形成されたものです。平野のもとになった入江は、最終氷期が終わって暖かくなり、海水面が上昇したことによって形成されたおぼれ谷に由来します。約20,000年前に-100m付近にあった海水面は、約15,000年前ころから上昇に転じ、約7,000年前にもっとも高くなり、その後現在まで海水面は多少上下しながらもほぼ一定してきました。この海面上昇は縄文海進と

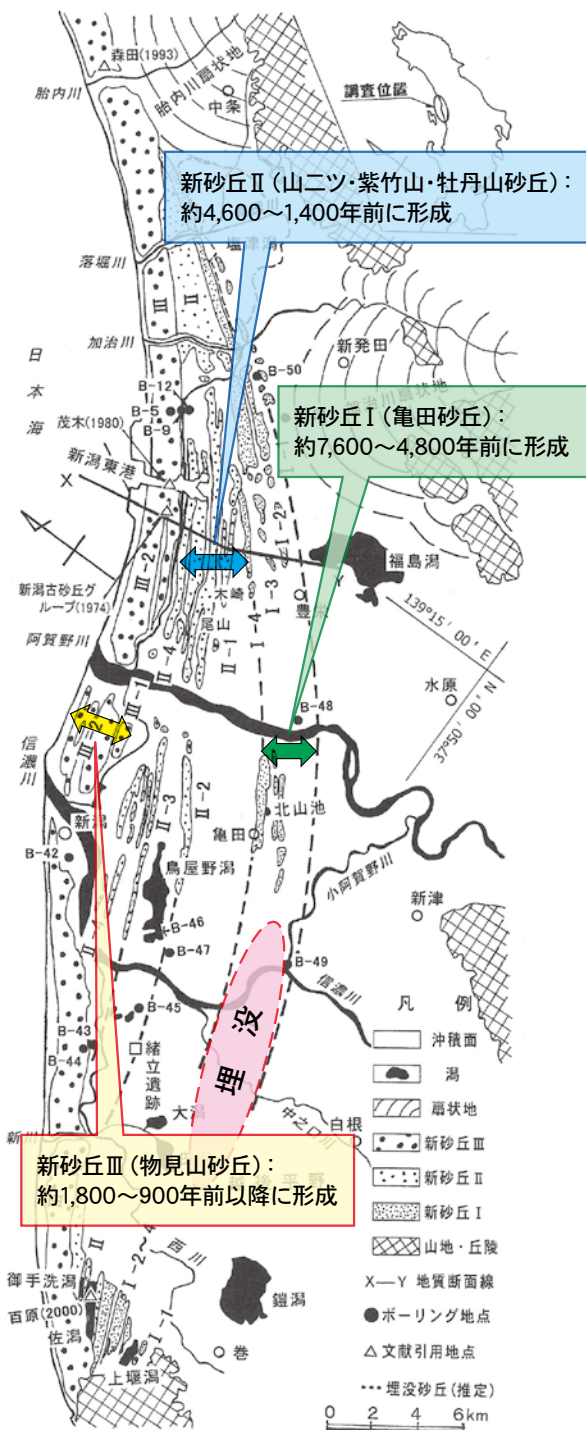


図4 新潟砂丘の分布と形成年代(文献11)に加筆

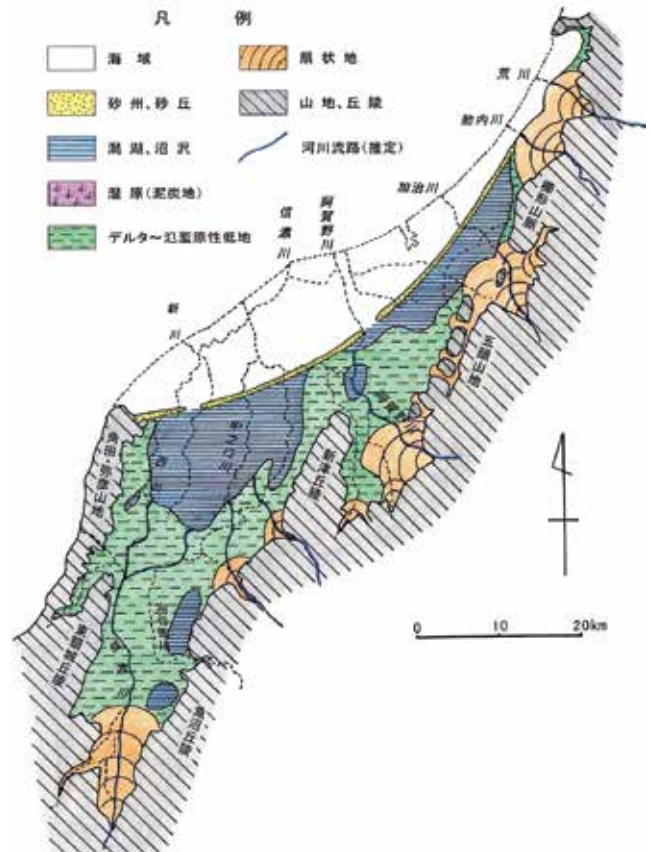


図5 約9,000~7,000年前の越後平野(文献12)に着色

も呼ばれ、このおぼれ谷を埋めた地層が沖積層です。

越後平野の場合、平野の形成にあたって砂丘(新潟砂丘)が大きな役割を果たしました。その第一は、この砂丘の形成によって越後平野の形・大きさが決まったこと。第二は、現在の海岸沿いに安定した厚い砂の層を堆積させ、生活の基盤となる土地を用意したこと。そして第三は、排水の障害となって内陸側に湿原や潟を多く形成したことです。しかし、広い低湿地帯が形成されたということは、逆に干拓による広大な水田の開発を可能にし、今日の穀倉地帯の基盤を作ったと見ることもできます。

その新潟砂丘は、瀬波海岸から角田岬まで約80km近くもつづき、日本最大級の規模を誇っています。全部で10列に分けられ、内陸側ほど古いことがわかっています(図4)。各砂丘列の形成年代については、¹⁴C年代値等に基づいて1列ごとに決定され¹¹⁾、ボーリング資料の解析結果と照らし合わせて6枚の古地理図が復元されています(図5、6)¹²⁾。

図5は、縄文海進のピーク時、最初に砂丘(砂州)が形成されたころの復元図です。内湾は吉田から燕付近まで広がっています。また、図6は古図とほぼ同時期の越後平野の様子です。古図は年代に近い図6よりもむしろ図5に似ています。そして、図6では海岸線に沿って砂丘

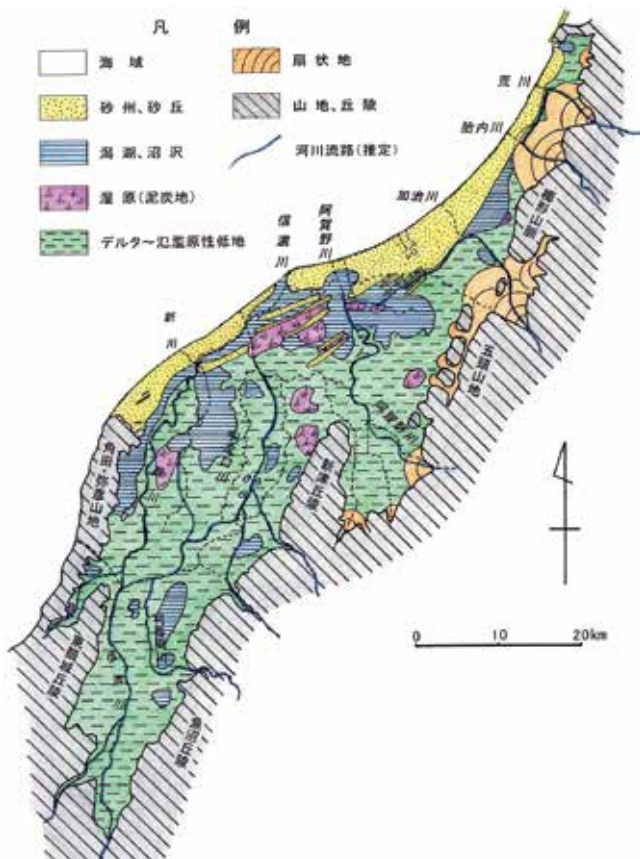


図6 約1,000年前の越後平野(文献12)に着色

が広く発達しています。つまり、古図が画かれたとされる約1,000年前には、立派な砂丘が平野の全面に立ちのびていたのです。

4. 地質学的に見た平安越後古図

このように、平安越後古図には、地質学的に見て不可解な点が、少なくとも2箇所あります¹³⁾。

①古図は内湾の状態で画かれているが、地質解析結果から、越後平野には約5,000年前以降、基本的に海が入っていないことがわかっている。

越後平野中央部の表層部(20mより浅い約5,000年前以降の地層)には、湿原環境を示す泥炭層が何枚も含まれており、珪藻化石はほとんどが淡水性であることから、平安時代には沼か湿原で、内湾ではありませんでした。

②海岸線に沿って当然そこにあるはずの砂丘(列)が、まったく画かれていない。

新潟砂丘の形成年代の研究から、約2,000年前にはすでに現在の海岸線付近、あるいはもっと沖合まで成長していたことがわかっています。平安時代に作者が実際に現地を訪れたのなら、この点を見逃すはずはありません。

地質学者が心情的にこの図に引かれ、理解を示したら、それはこの図が縄文海進のピークのころの古地理

図(図5)によく似ているからと思われます。しかし、両者の時代は約7,000年前と約1,000年前とで大きく異なり、混同することは誤りです。

5. おわりに

平安越後古図に関しては、その真偽を離れ、これに別の意義を見出そうとする考えもあります。それは洪水時のハザードマップとしての役割です⁶⁾。治水対策推進のための広報用の資料に利用するなど、何らかの意図を持って画かれたのではないかとする見方です。確かに明治29(1896)年の横田切れの浸水域図に似てなくもありません。

このように、平安越後古図は理学的にも文献学的にも明らかに偽図と見なされるのですが、この古図をめぐる議論はまだしばらくは続きそうです。

文献

- 1) 新潟市役所編(1934)新潟市史上巻. 新潟市, 1161p.
- 2) 堀 健彦(2010)平安越後古図の分類試論. 新潟大学大学院現代社会文化研究科プロジェクト「大域的文化システムの再構成に関する資料学的研究」、資料学研究, Vol.7, p.1-26.
- 3) 古島敏雄(1967)土地に刻まれた歴史. 岩波新書, 222p.
- 4) 津田正生(1916)尾張国地名考. 愛知県海部郡教育会, 679p.
- 5) 堀 健彦編(2008)平安越後古図集成. 新潟大学「大域的文化システムの再構築に関する資料学的研究」、75p.
- 6) 浅井勝利(2015)康平寛治の年紀を持つ「越後古図」について. 新潟県立歴史博物館研究紀要, No.16, p.47-56.
- 7) 北村孝次郎(1967)新潟平野(内陸部)における地盤沈下の原因に関する一考察. 土と基礎, Vol.15, No.5, p.15-23.
- 8) 堀 健彦(2005)越後古図に関する歴史地理学的検討—絵図をめぐる古代～近代—(研究会要旨). 人文地理, Vol.57, No.4, p.444-445.
- 9) 榎根 勇(1985)越後平野の1,000年. 新潟日報事業社, 223p.
- 10) 西田彰一・茅原一也(1956)弥彦・角田山塊の生い立ちと最近の地史. 新潟県文化財年報 第1集 弥彦角田山周辺総合調査報告書, 新潟県教育委員会, p.1-44.
- 11) 鴨井幸彦・田中里志・安井 賢(2006)越後平野における砂丘列の形成年代と発達史. 第四紀研究, Vol.45, p.67-80.
- 12) 鴨井幸彦・安井 賢(2004)越後平野の古地理的変遷. 日本第四紀学会2004年大会講演要旨集. No.34, p.45-46.
- 13) 鴨井幸彦(2017)越後平野はどうしてできたか?—古墳時代の越後平野を推理する—. p.35-54, 平成28年度 史跡古津八幡山 弥生の丘展示館 企画展関連講座・講演会 記録集, 新潟市文化財センター, 76p.



《おがさわら丸》二見港入港



ザトウクジラ



ザトウクジラ



ヒメカタマイマイ



フィッシング



ヤコウダケ

東京都の亜熱帯

「亜熱帯」とは、一般的に熱帯と温帯の間の地域で、おおむね経度20°から30°あたりと言われ、四季は温暖多湿で年間平均気温23℃とされています。日本国内で言えば「沖縄県」が最も知られています。

東京都に亜熱帯地域が有るとは直ぐには信じられませんが、1,000kmほど太平洋を南下した地域に「東京都小笠原村（父島）」があります。2011年（平成23年）6月に世界自然遺産登録された「小笠原諸島」です。

世界自然遺産 小笠原諸島

小笠原諸島は大小30あまりの島々から成る海洋島で、小笠原諸島の玄関口である「父島」は、沖縄本島とほぼ同じ北緯27°に位置しています。一般の都民は「父島」と「母島」の2島だけに居住しております。さらに父島より250km南下したあたりに硫黄島（自衛隊員駐屯）があり、

さらに南下すると南鳥島などもあります。

小笠原諸島が誕生して以来、大陸と陸続きとなった事が無い為、独特な進化を遂げた動植物や大自然に満ちています。このような地域性の為、小笠原諸島の固有種は、植物の36%、昆虫類の28%、陸産貝類の94%にもなります。

観光

世界自然遺産である「小笠原諸島」の観光は、自然とのふれあいが一番でしょう。専門のガイドと共に自然を満喫してみても如何でしょうか？亜熱帯の森や山で動植物を観察しながらのトレッキングは、一生忘れられない体験となるでしょう。時間があれば「父島」「母島」（父島から《ははしま丸》で2時間）の両方を廻られることをお勧めします。また、小笠原諸島では、様々な海のアクティビティも楽しむ事が出来ます。ダイビング、シュノーケリング、フィッシング、シーカヤックなど満載です。中でもお勧めは「ホエールウォッチング」でしょう。小笠原諸島のホエールウォッチングの代表ともいえるザトウクジラは、2月頃



父島 小港海岸



父島 星空観察



父島 製氷海岸枝サンゴの群生



父島 森・山ガイドツアー



南島から望む父島ジニービーチ



島寿司



母島 東港付近戦跡



母島 乳房山 下山コース



硫黄島

から4月頃までがベストシーズンです。海面を飛び上がった、海面を叩いたりする様子が観察できます。その他に5月頃から11月頃はマッコウクジラを見る事が出来ます。

父島も母島もアクティビティガイドが充実していますので、陸(森・山)や海で大自然に触れてみては如何でしょう。

交通手段と宿泊

小笠原諸島には空港が無い為、交通手段としては、定期船《おがさわら丸》の利用となります。東京の竹芝桟橋を11時00分に出港して、翌日の11時00分に父島の二見港に到着します。24時間の船旅となります。当然、復路も同じ時間をかけて、竹芝桟橋に戻る事になります。旅行の計画を立てる時には、余裕を持った日程をご検討ください。

父島での島内移動は、村営バスもありますが、レンタカー、レンタバイク、レンタサイクルが便利です。二見港のある大村地区は、村内一番の繁華街で飲食店も多く、シーズンにはにぎやかな街となります。宿泊施設も大村地区に

39軒、父島全体で63軒(2017年5月現在)ほどあります。

母島でも島内移動は、レンタカー、レンタバイク、レンタサイクルが便利です(バスやタクシーはありません)。《はしま丸》が寄港する集落付近に、宿泊施設13軒(2017年5月現在)や飲食店が集まっています。

＼ご注意／

貴重な自然環境を維持し、世界遺産を後世まで引き継いでいく為に、小笠原を訪ねる際は、本来いない生き物を持ち込まない様にご注意下さい。

船に乗る際は、靴に着いた泥を落としましょう。自然環境を守る為にガイドの指示に従うなど、決められたルールを守りましょう。また、島内はキャンプ禁止です。必ず宿泊施設を予約しましょう。



平成29年度(第35回) 北陸支部定時総会

〈事務局〉

去る平成29年4月19日(水)新潟グランドホテルにおいて、平成29年度第35回北陸支部定時総会が開催されました。

総会は、出席会員の確認、総会成立宣言に続き寺本支部長の挨拶がありました。



寺本支部長の挨拶

その後議長より、議事録署名人が委嘱され議事に入りました。

議事録署名人

サンコーコンサルタント(株)北陸支店
支店長 小幡 季也 様

日本工営(株)新潟支店
支店長 末武 晋一 様

議事の審議は以下のとおりで、原案どおり承認されました。

- 第1号議案 平成28年度事業報告
北陸支部活動報告
- 第2号議案 平成28年度収入支出決算報告
監査報告
- 第3号議案 平成29年度事業計画
- 第4号議案 平成29年度収入支出予算
- 第5号議案 役員を選任について

北陸支部 役員名簿

支部長	寺本 邦一	開発技建(株)
副支部長	大平 豊	エヌシーイー(株)
副支部長	山本 信二	大日本コンサルタント(株)
副支部長	新家 久司	(株)国土開発センター
運営委員長	坂上 悟	開発技建(株)
運営委員	黒木 康生	(株)日本海コンサルタント
運営委員	瀬川光太郎	(株)建成コンサルタント
運営委員	原 文宏	(株)建設技術研究所
運営委員	青木 和之	エヌシーイー(株)
運営委員	齊木 勝	(株)キタック
運営委員	笹谷 輝彦	(株)国土開発センター
支部監事	高堂 景寿	相互技術(株)
支部監事	船谷喜代文	旭調査設計(株)



議事の様子

総会后、講演会を開催いたしました。講演の内容は以下のとおりです。



講演の様子

講師 一般財団法人 国土技術研究センター
業務執行理事 野田 徹 氏
演題 「建設界を取り巻く様々な情勢について」

講演内容は以下のとおりです。

1. ハッ場ダムについて
2. 建設界の担い手の確保・育成について
3. 調査設計業務の品質確保について
4. I-Constructionについて

建設界を取り巻く様々な情勢について、事例を踏まえて分かりやすくご講演いただきました。

講師略歴

昭和56年 3月 北海道大学工学部土木工学科 卒業
昭和56年 4月 建設省入省

.....
平成 4年 7月 建設省大臣官房技術調査室
技術審議官付補佐

平成 6年 6月 建設省河川局 治水課長補佐

平成 8年 4月 建設省中部地方建設局
天竜川上流工事事務所長

平成10年 4月 和歌山県 土木部 河川課長

平成12年 4月 国土交通省 関東地方整備局
河川部 河川調査官

平成13年 4月 国土交通省 関東地方整備局
ハッ場ダム工事事務所長

平成16年 7月 国土交通省 河川局海岸室海洋開発官

平成18年 7月 国土交通省大臣官房 技術調査課
建設システム管理企画室長

平成20年 4月 国土交通省 河川局 海岸室長

平成21年 7月 国土交通省 中部地方整備局企画部長

平成23年10月 国土交通省 水管理・国土保全局
防災課長

平成25年 7月 国土交通省 北陸地方整備局長

平成27年 4月 国土交通省退官

.....
平成28年 8月 一般社団法人国土技術研究センター
勤務

現在に至る



講演会の様子

平成28年度 「独占禁止法等遵守に関する講習会」報告

〈独占禁止法等の遵守に関する特別部会〉

講習会の概要

平成29年2月16日、独禁法に関する講習会を新潟市の興和ビルで開催しましたので、報告いたします。当日は、会員39社から役員10名、社員64名を含めて計74名が参加。弁護士の平山勝也様から法律の基礎的な解釈、過去の違反例・裁判例のほか、独禁法違反の未然防止・早期発見等の対応について経営者の視点・社員の視点で解説していただきました。



開会挨拶 中俣副支部長

平山弁護士の講演概要



講演をいただく平山勝也先生

独占禁止法に関する事例紹介ほか

今回で講師を引き受けて頂き3年目となった弁護士の平山先生から、独禁法に関する事例紹介として「私的独占」「不公正な取引方法」が問題となった事例紹介のほか「コンプライアンス」として未然防止・早期発見・違反情報に接した場合の対応について解説がありました。

1) 私的独占の禁止(他の事業者の事業活動を排除し競争を実質的に制限すること)に関して

日本音楽著作権協会(JASRAC)が、音楽著作権者に支払う使用料に関して放送事業者(テレビ・ラジオ)と曲の使用回数にかかわらず放送事業収入に一定の率でかけた金額を支払う包括的利用許諾契約を締結。⇒1曲ごとに著作権使用を徴収する新規事業者が参入できないのは、私的独占にあたるとして東京高裁・最高裁と発展。契約方法によっても私的独占の禁止にあたる可能性があることが示された。

2) 不公正な取引方法(不当な利益をもって競争者の顧客を自己と取引するように誘引すること等)に関して

教科書会社が教科書の採択に関与する可能性のある教員らに対して、意見聴取の謝礼として金銭・飲食等を提供。⇒不公正な取引方法に違反するおそれがあるとして、今後そのような行為を行わないように公正取引委員

講演会次第

1. 開会挨拶 副支部長 中俣 孝
2. 講演 『独占禁止法の概要』
- 具体例に触れながら -
平山勝也法律事務所
弁護士 平山 勝也 氏
3. 講演 『発注者との関わりの社内研修資料について』
本部 独禁法に関する委員会
委員 西潟 常夫 氏
4. 閉会挨拶 総括部会長 青木 和之

会が警告。どの業界でも注意が必要と思われる事例として紹介された。

3) 独禁法のコンプライアンスに関して

法令を遵守しないと「費用がかかる」ばかりか、「企業のイメージ低下」「お客様の信用失墜」等と取り返しがつかない。その対策として、未然防止・早期発見・違反情報に接した際の対応と3つに分けて、あらかじめ検討しておくことが望ましい。特に「コンプライアンス担当部署設置」「経営トップによる呼びかけ」「独占禁止法遵守マニュアル作成」のほか、「有事対処マニュアルの整備」が重要であり、課徴金の減免制度を利用するためにも有効であるとの説明があった。

西潟委員の説明概要



講演をいただく西潟常夫委員

発注者との関わりの社内研修資料について

西潟委員からは、当協会本部で「発注者との適切な関係：理解度チェック表(30設問・解説付き)」を作成したので、社内コンプライアンス研修に積極的に活用いただき

たい。設問は、例えば「建設コンサルタントが受託した業務の成果物の内容について、当該工事を受注した工事業者から教えて欲しいと依頼があった。工事を実施するにあたり必要な内容だったため回答した。」…○か?×か?といったものである。ちなみに、この正解は×である。どうしてダメなのか?理由まで答えられる人はあまりいないと思うが、解説付きなので新入社員でも理解しやすいものとなっていると紹介があった。

最後に

本講演では、その他にも、マイクロソフトのエクセル(人気)とワード(不人気)の抱き合わせ販売の事案、全日空(ANA)が旅行代理店に対して日本航空(JAL)を使うようなら新潟札幌便を使わせないと要求した事案等にも触れ、不公正な取引方法のいくつかの事例から、受講者は、第1条・2条・第19条の条文の明解な解釈ができたものと思われます。弁護士の平山勝也様にはこの場をお借りして、感謝申し上げます。ありがとうございました。



閉会挨拶 青木総括部会長



講演を聴講する会員

北陸支部活動報告

平成28年4月7日
北陸支部会計監査

場 所／北陸支部会議室
実施者／高堂支部監事、吉楽支部監事
立会者／高田運営委員長

平成28年4月7日
平成28年度第1回役員会

場 所／興和ビル会議室
議 題／平成27年度監査報告
第34回北陸支部定時総会議案について 他

平成28年4月19日
インフラ再生技術者育成新潟地域協議会第1回幹事会

場 所／長岡技術科学大学
出席者／渡邊技術部会長

平成28年4月20日
大学等PR活動（PR冊子配布）

場 所／長岡技術科学大学
対応者／神田道路委員長

平成28年4月21日
大学等PR活動（PR冊子配布）

場 所／新潟大学理学部
対応者／小見都市計画委員長

平成28年4月21日
大学等PR活動（PR冊子配布）

場 所／新潟大学キャリアセンター
対応者／小見都市計画委員長

平成28年4月21日
平成28年度北陸支部定時総会

場 所／新潟市内
総 会／第1号議案 平成27年度事業報告
第2号議案 平成27年度決算
監査報告
第3号議案 平成28年度事業計画
第4号議案 平成28年度予算
第5号議案 役員の選任
講演会／演題「社会資本マネジメントの転換」
講師 一般財団法人日本建設情報総合センター
顧問 佐藤 直良 氏

平成28年4月27日
インフラ再生技術者育成新潟地域協議会第1回協議会

場 所／北陸技術事務所
出席者／寺本支部長（代行 渡邊技術部会長）

平成28年5月13日
講師派遣

派遣先／北陸地方整備局
派遣数／1名

平成28年5月13日
講師派遣

派遣先／インフラ再生技術者育成講習会（ME養成講座）
派遣数／1名

平成28年5月18日～20日
砂防学会定時総会並びに研究発表「富山大会」（実行委員会）

場 所／富山市内
内 容／口頭発表及びポスター発表
特別講演「立山砂防のオカッチャン応援隊
～絶対安全はないがだぜ～」
講師 立山砂防女性サロンの会
アドバイザー 吉友 嘉久子 氏

平成28年5月20日
講師派遣

派遣先／北陸地方整備局
派遣数／1名

平成28年5月20日
講師派遣

派遣先／（一財）新潟県建設技術センター
派遣数／2名

平成28年5月20日
講師派遣

派遣先／インフラ再生技術者育成講習会（ME養成講座）
派遣数／1名

平成28年5月23日
講師派遣

派遣先／金沢工業大学
派遣数／1名

平成28年5月23日
大学等PR活動（PR冊子配布）

場 所／新潟工科大学
対応者／真島品質向上委員長

平成28年5月24日
大学等PR活動（PR冊子配布）

場 所／新潟大学農学部
対応者／佐藤建設環境委員長

平成28年5月24日
大学等PR活動（PR冊子配布）

場 所／石川高専環境都市工学科
対応者／木下道路委員

平成28年5月26日
大学等PR活動（説明会）

場 所／金沢工業大学
対応者／今度トンネル委員長、藤本道路委員

平成28年5月26日
建設技術報告会第1回実行委員会

場 所／新潟国道事務所
出席者／高橋広報委員長

平成28年5月31日～6月3日
平成28年度道路橋メンテナンス技術講習会（共催）

場 所／新潟市内
内 容／サテライト講習 座学
現場実習（阿賀野川大橋）
受講者／35名

平成28年6月1日
北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会石川県部会
場 所／金沢河川国道事務所
出席者／笹谷運営委員

平成28年6月9日
新潟県災害復旧技術研修会（共催）
場 所／新潟県庁
参加者／27名

平成28年6月11日
にいがた防災アクション2016 ふるまち防災フェスタ
場 所／新潟市内
内 容／パネル出展、PR動画放映 他

平成28年6月14日
新潟県土木部主催「技術管理関係説明会」
場 所／新潟県新潟地域振興局新津庁舎
出席者／渡邊技術部会長、真嶋品質向上委員長

平成28年6月15日
会誌「雪の音」Vol.127号発刊
担 当／広報部会 会誌編集委員会

平成28年6月15日
北陸支部会員名簿（平成28年6月）発刊
担 当／広報部会 会誌編集委員会

平成28年6月17日
大学等PR活動（説明会）
場 所／石川高専環境都市工学科
対応者／藤本道路委員、木下道路委員

平成28年6月18日
前川排水機場稼働開始20年記念講演会（後援）
場 所／小松市内
内 容／講演 災害の備えについて
～企業の防災対策BCP（事業継続）計画～
講師 コマツ粟津工場
総務部長 伊藤 祐一 氏

平成28年6月19日
立山砂防90周年記念講演会（後援）
場 所／富山市内
内 容／講演 「立山砂防と赤木先生」
講師 全国治水砂防協会理事長 岡本 正男 氏
講演 「立山カルデラが語りかけてくるもの
～崩れに挑んだ人々との出会い～」
講師 立山カルデラ砂防博物館理事
吉友 嘉久子 氏

平成28年6月20日
北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会新潟県部会
場 所／北陸地方整備局
出席者／中俣副支部長

平成28年6月21日
大学等PR活動（説明会）
場 所／金沢大学理工学域環境デザイン学類
対応者／今度トンネル委員長、麻田トンネル委員

平成28年6月24日
講師派遣
派遣先／インフラ再生技術者育成講習会（修了試験）
派遣数／2名

平成28年6月24日
北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会富山県部会
場 所／富山河川国道事務所
出席者／吉田副支部長

平成28年6月26日
北陸支部石川事務所社会貢献活動
白山外来植物除去作業 in 市ノ瀬一斉防除
場 所／白山国立公園
内 容／外来植物除去作業
参加者／43名

平成28年6月27日
富山県災害復旧事業実務講習会（共催）
場 所／富山県民会館
参加者／36名

平成28年6月28日
平成28年度第1回新技術活用評価会議
場 所／北陸地方整備局
出席者／涌井河川及び砂防委員長

平成28年6月28日
講師派遣
派遣先／新潟県土木部道路管理課
派遣数／1名

平成28年6月30日
講師派遣
派遣先／北陸地方整備局
派遣数／1名

平成28年7月1日
講師派遣
派遣先／北陸地方整備局
派遣数／1名

平成28年7月6日
平成28年度 マネジメントセミナー（本部主催）
場 所／新潟市内
講 師 本部担当委員会委員
内 容／建設コンサルタントとマネジメント
PPP/PFIの政策動向と事例紹介
～多様化するPPP/PFI～
CM業務普及に向けて
～多様なCM方式と建設コンサルタントの役割～
マネジメントシステムを効率的に運用するために
～ISO9001（品質マネジメントシステム）の改正について～
～品質マネジメントシステムの効果的な運用事例～
～ISO55001（アセットマネジメントシステム）の概要と動向について～
建設コンサルタントの環境配慮マネジメント
～ISO14001（環境マネジメントシステム）の改正について～
～環境配慮の手引き2016について～
～建設事業における環境配慮事例について～
品質の確保・向上に向けて
～失敗を好評価に変える～
参加者／国5名、県12名、政令市10名、会員等92名 計119名

平成28年7月14日

講師派遣

派遣先／北陸地方整備局

派遣数／1名

平成28年7月14日

平成28年度第2回役員会

場 所／高岡市内

議 題／協会本部定例運営会議等報告 他

平成28年7月15日

講師派遣

派遣先／北陸地方整備局

派遣数／1名

平成28年7月15日

インフラ再生技術者育成新潟地域協議会第2回幹事会

場 所／北陸技術事務所

出席者／渡邊技術部会長

平成28年7月21日～22日

CIM講習会（本部主催）

場 所／新潟市内

内 容／サテライト講習・パソコンによる実習

参加者／20名

平成28年7月25日

第14回社会資本整備セミナー（共催）

場 所／長野市内

内 容／演題「最近の国土交通行政の取り組みについて」

講師 北陸地方整備局 企画部

技術開発調整官 鈴木 和弘 氏

演題「北陸地方の地形地質と自然災害

－地形地質の生い立ちと自然災害の特徴－」

講師 公益社団法人日本技術士会北陸本部

防災委員会委員長 平野 吉彦 氏

平成28年7月27日

ほくりく防災・減災考座2016（後援）

場 所／新潟市内

講 演 講演1

演題「民による災害支援活動

熊本地震における支援活動より」

講師 公益社団法人中越防災安全推進機構

地域防災力センター

マネージャー 河内 毅 氏

講演2

演題「微地形研究からみた「自然災害」リスク」

講師 新潟大学教育学部

准教授 小野 映介 氏

平成28年7月27日

高欄・支承技術講習会（後援）

場 所／新潟市内

講 演 講演1「防護柵補修時の留意点と補修事例」

講師 一般社団法人全国高欄協会

技術部会委員 飯田 尚明 氏

講演2「支承の維持管理」

講師 一般社団法人日本支承協会

技術委員会委員 小南 雄一郎 氏

平成28年8月1日

第14回社会資本整備セミナー（共催）

場 所／富山市内

内 容／演題「最近の国土交通行政の取り組みについて」

講師 北陸地方整備局 企画部

地方事業評価管理官 高島 和夫 氏

演題「北陸地方の地形地質と自然災害

－地形地質の生い立ちと自然災害の特徴－」

講師 公益社団法人日本技術士会北陸本部

防災委員会委員 藤木 良一 氏

平成28年8月2日

第14回社会資本整備セミナー（共催）

場 所／金沢市内

内 容／演題「最近の国土交通行政の取り組みについて」

講師 北陸地方整備局 企画部

地方事業評価管理官 高島 和夫 氏

演題「北陸地方の地形地質と自然災害

－地形地質の生い立ちと自然災害の特徴－」

講師 公益社団法人日本技術士会北陸本部

防災委員会委員 今度 充之 氏

平成28年8月3日

第14回社会資本整備セミナー（共催）

場 所／新潟市内

内 容／演題「最近の国土交通行政の取り組みについて」

講師 北陸地方整備局 企画部

技術調整管理官 倉重 毅 氏

演題「北陸地方の地形地質と自然災害

－地形地質の生い立ちと自然災害の特徴－」

講師 公益社団法人日本技術士会北陸本部

防災委員会委員長 平野 吉彦 氏

平成28年8月5日

インフラ再生技術者育成新潟地域協議会第3回幹事会

場 所／技術士センタービル

出席者／渡邊技術部会長

平成28年8月5日

インフラ再生技術者育成新潟地域協議会第2回協議会

場 所／技術士センタービル

出席者／寺本支部長

平成28年8月5日

道路・トンネル技術講習会

場 所／新潟市内

内 容／講演1「情報化施工～ICTによる施工の効率化・品質確保及び情報の活用～」

講師 国土交通省国土技術政策総合研究所

社会資本マネジメント研究センター

社会資本施工高度化研究室

室長 森川 博邦 氏

講演2「山岳トンネルには地形・地質の素養が必須」

講師 国際航業(株)最高技術顧問

首都大学東京客員教授 大島 洋志 氏

参加者／49名

平成28年8月8日
建設コンサルタンツ協会北陸支部主催 業務・研究発表会

場 所／金沢市内

内 容／基調講演

「超高齢社会における3次救急医療・救急搬送の課題と国保データベース・後期高齢者データベースの活用可能性について」

金沢大学理工研究域

環境デザイン学系 高山 純一 教授

業務・研究発表 8編

学生講演 2編

参加者／120名

平成28年8月17日
コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム(後援)

場 所／新潟市内

内 容／演題「北陸地方整備局の最近の取り組み」

講師 北陸地方整備局企画部

技術調整管理官 倉重 毅 氏

演題「すぐに役立つセメント系補修・補強材料の基礎知識」

講師 セメント協会 徳永 健二 氏

演題「劣化機構に応じた補修工法選定の基本的な考え方」

講師 コンクリートメンテナンス協会

技術委員長 江良 和徳 氏

演題「亜硝酸リチウムを用いた塩害、中性化、ASRの補修技術について」

講師 コンクリートメンテナンス協会

技術委員長 江良 和徳 氏

演題「コンクリート構造物の劣化と表面保護工法について

～塗膜型剥落防止工法と表面保護クリヤー工法～

講師 日本ペイント販売(株) 中丸 大輔 氏

平成28年8月20日
社会貢献活動「親子で見学会」
(共催：信濃川下流河川事務所、新潟国道事務所、新潟市)
(後援：新潟県、新潟商工会議所、新潟日報社)

場 所／新潟市内

内 容／信濃川からみた「やすらぎ堤」「萬代橋」など(乗船体験)

万代クロッシング(萬代橋、八千代橋のお話等)

参加者／親子10組23名

平成28年8月21日
北陸支部富山事務所社会貢献活動
平成28年度ふるさと富山美化大作戦

場 所／富山市内

参加者／14会員23名

平成28年8月22日

講師派遣

派遣先／新潟県土木部道路建設課

派遣数／1名

平成28年8月22日

金沢河川国道事務所との意見交換会

場 所／金沢市内

出席者／富山金沢河川国道事務所長 他17名

新家北陸支部副支部長 他18名

平成28年8月23日

i-Construction/CIMセミナー in 北陸(共催)

場 所／新潟市内

内 容／講演「北陸地方整備局のi-Constructionの取り組み」

講師 北陸地方整備局 企画部

技術調整管理官 倉重 毅 氏

講演「CIM最新動向(これまでの取組と本格化に向けて)」

～CIM推進に関する現状と今後の動向～

講師 一般財団法人日本建設情報総合センター

研究開発部 景山 輝彰 氏

講演「CIM推進における最新事例(3次元モデル実践事例)」

～河川、ダム、道路、橋梁、鉄道等の分野別の3次元モデル事例～

講師 応用技術株式会社エンジニアリング本部

国土基盤情報部CIMコンサルタントグループ

竹重 和馬 氏

講演「ゼネコン、施工者向け事例紹介」

～i-Constructionを支援する最新測量技術～

講師 株式会社小林コンサルタント 技術部

空間情報事業課3D計測チーム

主任 田嶋 誠司 氏

平成28年8月28日

「横田切れ」120年シンポジウム

－災害を「伝える」「学ぶ」地域づくり－(後援)

場 所／燕市文化会館

内 容／講演「温故知新－次の災害への備えを考える－」

講師 新潟大学危機管理本部危機管理室

教授 田村 圭子 氏

パネルディスカッション

平成28年8月29日

講師派遣

派遣先／(一財)新潟県建設技術センター

派遣数／4名

平成28年8月30日

講師派遣

派遣先／(一財)新潟県建設技術センター

派遣数／4名

平成28年8月30日

講師派遣

派遣先／富山県土木部道路課

派遣数／3名

平成28年9月1日

北陸支部防災訓練及び協会防災演習

場 所／北陸支部会議室

内 容／FAX及びメールによる情報伝達訓練

参加者／支部長、副支部長、災害対策部会、総括部会、
広報部会

平成28年9月2日

講師派遣

派遣先／インフラ再生技術者育成講習会（ME養成講座）

派遣数／2名

平成28年9月5日

講師派遣

派遣先／（一財）新潟県建設技術センター

派遣数／4名

平成28年9月6日

講師派遣

派遣先／（一財）新潟県建設技術センター

派遣数／3名

平成28年9月6日

平成28年度第3回役員会

場 所／新潟市内

議 題／協会本部定例運営会議等報告 他

平成28年9月6日

北陸ブロック意見交換会

場 所／新潟市内

出席者／北陸地方整備局 中神局長他10名

新潟県 中田技監他1名

富山県 茂崎建設技術企画課主幹

石川県 田村監理課技術管理室担当課長

新潟市 樋山技術管理センター長他1名

協会本部 長谷川会長他14名

北陸支部 寺本支部長他20名

平成28年9月7日

**オープンシールド工法新潟市江南区施工現場見学会
（後援）**

場 所／新潟市内

内 容／現場概要説明及び工法内容の研修

工事名 新潟南部8期地区 天野排水路第2-1次工事

新潟南部8期地区 天野排水路第3次工事

平成28年9月8日

北陸地方建設副産物対策連絡協議会新潟県下越分科会

場 所／新潟国道事務所

出席者／若尾建設環境委員

平成28年9月9日

講師派遣

派遣先／インフラ再生技術者育成講習会（ME養成講座）

派遣数／1名

平成28年9月9日

講師派遣

派遣先／（一財）新潟県建設技術センター

派遣数／5名

平成28年9月16日

橋梁技術講演会（共催）

場 所／新潟市内

内 容／演題「橋の維持管理法の紹介－海外事例－」

講師 北陸鋼橋技術研究会 代表

長岡技術科学大学

名誉教授 長井 正嗣 氏

埼玉大学大学院理工学研究科

環境社会基盤国際コース

教授 奥井 義昭 氏

演題「ドイツの維持管理事情」

講師（株）ネクスコ東日本エンジニアリング

企画部上席専門役兼務 技術営業部

上席道路保全技術専門役 紺野 義仁 氏

講演「インフラストラクチャマネジメントと技術開発」

講師 横浜国立大学 先端科学高等研究院

上席特別教授

内閣府参与 総合化学技術イノベーション会議

SIPプログラムディレクター併任

藤野 陽三 氏

参加者／162名

平成28年9月21日

講師派遣

派遣先／（一財）新潟県建設技術センター

派遣数／1名

平成28年9月23日

講師派遣

派遣先／インフラ再生技術者育成講習会（ME養成講座）

派遣数／1名

平成28年9月27日

道路橋の長寿命化対策に関わる技術講習会（後援）

場 所／新潟市内

内 容／講演「道路橋の維持管理に関する最近の話題」

講師 北陸地方整備局 道路部

道路保全管理官 星野 成彦 氏

講演「道路橋床版の損傷状況と維持管理計画について」

講師 日本大学 生産工学部

教授 工学博士 阿部 忠 氏

平成28年9月27日・28日

まちづくりセミナー

場 所／宇都宮市内

内 容／研修会

・宇都宮市の都市計画の概要、立地適正化計画

・公共交通の現状・課題と取組み

・LRTとまちづくり、自転車のまちうつのみや

講師 宇都宮市都市整備部都市計画課 他4課

参加者／24名

平成28年9月30日

講師派遣

派遣先／インフラ再生技術者育成講習会（ME養成講座）

派遣数／1名

平成28年9月30日

平成28年度道路・トンネル現場見学会

場 所／上信越自動車道 中郷IC～上越JCT

内 容／矢代川橋梁ケーソン基礎、あらい高架橋、五日市

工事、天神堂トンネル、儀明川橋梁上部工

参加者／29名

平成28年9月30日

防災・減災・老朽化対策関連技術講習会（後援）

場 所／新潟市内

内 容／講演 地山補強土PAN WALL(パンウォール工法)について

講師 PAN WALL工法協会 吉金 正益 氏

講演 切土盛土複合補強土壁CABB WALL(キャブウォール) 工法について

講師 CABB WALL工法研究会 西尾 信行 氏

講演 コンクリートはく落防止工法

「ウォールプロテクト工法」について

講師 ウォールプロテクト工法協会

林 正信 氏

講演 マンホール浮上防止対策工法

「WIDEセフティパイプ工法」について

講師 WIDEセフティパイプ工法協会

吉本 勝彦 氏

講演 ゲリラ豪雨と戦うプレキャスト雨水貯留槽の現状と事例紹介

講師 水循環システム事業協会 三好 祥汰 氏

平成28年10月2日

防災講演会 in 南砺市（協賛）

場 所／南砺市内

内 容／基調講演 「最近の土砂災害の実態」

国土交通省

水管理・国土保全局砂防課

保全課長 今井 一之 氏

体験報告 「平成20年7月南砺市豪雨災害時の対応」

南砺市役所 視聴政策部

活動報告1 富山県防災士会

事務局長 佐伯 邦夫 氏

活動報告2 立山砂防女性サロンの会

シニアアドバイザー

吉友 嘉久子 氏

平成28年10月3日・4日

GIS講習会

場 所／川崎市

内 容／SIS初級編 参加者3名

SIS中級編 参加者4名

平成28年10月4日

大学等PR活動（説明会）

場 所／長岡高等専門学校

対応者／涌井河川及び砂防委員長、真嶋品質向上委員長

平成28年10月5日

平成28年度第2回新技術活用評価会議

場 所／北陸地方整備局

出席者／涌井河川及び砂防委員長

平成28年10月7日

社会貢献活動 土木出張PR

場 所／五泉市山王中学校

対応者／新郷 恭弘 氏

平成28年10月7日

講師派遣

派遣先／インフラ再生技術者育成講習会（ME養成講座）

派遣数／2名

平成28年10月7日

橋梁委員会現場見学会

場 所／富山県南砺市

内 容／利賀ダム 庄川橋梁、豆橋橋梁等見学
参加者／14名

平成28年10月7日

第13回地盤調査法講習会（後援）

場 所／新潟市内

内 容／（1）ボーリング
（2）室内土質試験
（3）サウンディング
（4）物理探査（地中レーダー）

平成28年10月11日

講師派遣

派遣先／新潟県土木部

派遣数／1名

平成28年10月13日

土研新技術ショーケース2016 in 新潟（共催）

場 所／新潟市内

内 容／土木・景観技術 3題

北陸地方整備局の講演

「北陸地方整備局の最近の取り組み」

北陸地方整備局

地方事業評価管理官 高島 和夫 氏

特別講演

「災害と社会資本整備」

新潟大学名誉教授

放送大学 新潟学習センター

所長 大川 秀雄 氏

維持管理技術 3題

防災・応急対策技術 4題

平成28年10月15日

新潟県立新潟工業高校生徒保護者との意見交換会

場 所／北陸地方整備局

内 容／生徒保護者9名との意見交換会

対応者／飯田 雅之 氏、山田 裕介 氏

平成28年10月15日

会誌「雪の音」Vol.128号発行

担 当／広報部会 会誌編集委員会

平成28年10月16日

第27回土木フェスティバル（後援）

場 所／国営越後丘陵公園

内 容／（1）屋外展示（緑の千畳敷）
土木・防災用機械の展示・体験・実演
（2）屋内展示（暖の館）
パネル・模型などの展示
（3）現場見学会

平成28年10月18日

北陸地方建設副産物対策連絡協議会新潟県中越分科会

場 所／長岡国道事務所

出席者／高野総括部会員

平成28年10月18日

新潟県土木部との意見交換会

場 所／新潟市内

出席者／新潟県 美寺土木部長 他14名

北陸支部 中俣新潟地域委員長 他12名

平成28年10月19日
第28回建設技術報告会（実行委員会）

場 所／金沢市内
内 容／技術報告
基調講演

「ICT建機による建設現場の新しい生産性向上法」
コマツ執行役員スマートコンストラクション推進本部長
兼コマツレンタル株式会社 代表取締役会長
四家 千佳史 氏
技術パネル等展示

平成28年10月20日
講師派遣

派遣先／富山県立大学
派遣数／1名

平成28年10月21日
新潟県立新潟工業高校出前講座

場 所／新潟国道事務所管内
内 容／見学 一般国道113号ござれや阿賀橋付近
（縦平面線形、平面・立体交差点、擁壁、
調整池、橋梁等）
座学 道路設計概論

平成28年10月21日
橋梁委員会現場見学会2

場 所／新潟県糸魚川市
内 容／一般国道8号 歌高架橋（第2・3工区）上部工
事現場
出席者／14名

平成28年10月21日
講師派遣

派遣先／インフラ再生技術者育成講習会（修了試験）
派遣数／4名

平成28年10月21日
RCCM登録更新講習会

場 所／新潟市内
内 容／挨拶・講話
花岡 憲男
（（一社）建設コンサルタンツ協会 常任理事）
技術課題と最近の動向
佐々木 葉（早稲田大学 教授）
建設コンサルタントの現状と課題
草柳 俊二（高知工科大学 名誉教授）
登録更新ガイド・修了証書交付

平成28年10月25日
第2回北陸橋梁保全会議（実行委員会主催）

場 所／新潟市内
内 容／基調講演
「道路構造物の経年劣化の現状と課題」
東京都市大学 学長 三木 千壽 氏
パネルディスカッション
「維持管理と人材育成」
長岡技術科学大学 名誉教授 丸山 久一 氏
ポスターセッション発表
報文発表
施工・維持管理 20報分
調査・研究 31報分
点検・設計 8報分
材料 1報分
技術展示（PRコーナー）

平成28年10月26日
ICT普及専門委員会講習会

場 所／新潟市内
内 容／「国土交通省におけるCIMおよびi-Construction
の取組み」
「建設コンサルタントによるCIMおよびi-Construction
等への対応」
「OCF活動紹介、関連ソフト紹介」
参加者／32名

平成28年10月26日
北陸地方建設副産物対策連絡協議会新潟県上越分科会

場 所／高田河川国道事務所
出席者／藤本建設環境委員

平成28年10月27日
第32回雪シンポジウム in 村上（後援）

場 所／村上市内
内 容／基調講演「世界に発信する 夏の冬季オリンピック」
講師 平野 英功 氏
（日本海スケートボード協会理事長）
パネルディスカッション
テーマ「魅力づくりによる戦略的地域活性化」

平成28年10月28日～29日
第15回北信越現地ワークショップ in 新潟（後援）

場 所／新潟市内
内 容／基調講演「河道掘削を川の再生に活かす！」
～河道内陸域環境の分析・評価・予測
方法を巡って～
講師 萱場 祐一氏
（国立研究開発法人土木研究所水環境研
究グループ）
一般講演「日本の水質環境50年を振り返る」
早川 典生 氏
（長岡技術科学大学名誉教授）
「越後平野における生態系ネットワークの
形成に向けた取組み」
古山 利也
（国土交通省北陸地方整備局）
「五十嵐川の災害復旧事業における多自
然川づくり」
山本 雅彦 氏
（新潟県三条地域振興局地域整備部）
「鳥屋野潟の湖岸堤整備に向けた環境調
査等事例」
古屋 友次郎 氏
（新潟県新潟地域振興局地域整備部）
「トキの餌場づくりの取組の評価と今後
の方向性」
松尾 勝則 氏
（新潟県佐渡地域振興局地域整備部）
「里潟の利用に向けた新潟市の取組み」
小林 博隆 氏
（新潟市環境部環境政策課）
「圃場整備地域における戦略的な生息地
再生計画の提案」
石間 妙子 氏
（福岡県保健環境研究所）
「生物多様性・自然栽培の可能性」
宮尾 浩史（宮尾農園代表）

平成28年11月1日
品質セミナー“エラー防止のために”（本部主催）
場 所／新潟市内
講 師 本部技術委員会照査特別WG委員
内 容／各セッションの調査・設計分野に現れるエラー事例の紹介、技術的分析、並びに照査の具体的改善について講義
参加者／国10名、県8名、政令市11名、会員94名、計123名

平成28年11月1日
独占禁止法等遵守に関する講習会（共催）
場 所／金沢市内
内 容／平成28年度独占禁止法等遵守に関する講習会
～設計、測量における著作権～
講 師 ノースブルー国際特許事務所
弁理士・技術士（建設・総合技術監理）
甲斐 哲平 氏
出席者／全体52名 会員20名

平成28年11月1日～2日
第15回多自然川づくり北陸ブロック担当者会議
場 所／金沢市内
内 容／分科会 5事例
基調講演「気候変化下での河川流出の変化とその河川環境への影響を考える」
講 師 谷口 健司 氏
（金沢大学准教授）
現地視察 直轄事業 手取川自然再生
補助事業 木場潟
出席者／全体74名 会員12名

平成28年11月2日
セメント系固化材の利活用セミナー（後援）
場 所／新潟市内
内 容／講演「大規模災害に対してセメント系固化材による地盤改良が果たす役割」
講 師 北詰 昌樹 氏
（東京工業大学大学院 教授）
講演「セメント系固化材の概要と適用事例調査について」
講 師 （一社）セメント協会 震災調査WG
講演「セメント系固化処理工法の新しい改良形式について」
講 師 国立研究開発法人 港湾空港技術研究所
地盤研究領域 地盤改良研究チームリーダー
森川 嘉之 氏
講演「発生土や分別土の利用と地盤環境への影響」
講 師 勝見 武 氏（京都大学大学院 教授）

平成28年11月4日
講師派遣
派遣先／富山県立大学
派遣数／3名

平成28年11月8日
社会貢献活動出前講座
場 所／結小学校
出席者／佐藤建設環境委員長、若尾建設環境委員、藤本建設環境委員、佐々木広報部会長、浜辺広報委員、高橋広報委員

平成28年11月9日
新潟市との意見交換会
場 所／新潟市内
出席者／新潟市 大沢土木部長 他13名
北陸支部 中俣新潟地域委員長 他12名

平成28年11月11日
インフラ再生技術者育成新潟地域協議会第4回幹事会
場 所／長岡技術科学大学
出席者／渡邊技術部会長

平成28年11月11日
講師派遣
派遣先／（一財）新潟県建設技術センター
派遣数／1名

平成28年11月11日
第3回北信越事例発表会（後援）
場 所／富山市内
内 容／一般口頭発表
基調講演「中小河川の多自然川づくりと小さな自然再生」
講 師 岐阜大学流域圏科学研究センター
准教授 原田 守啓 氏
審査対象口頭発表 5編

平成28年11月13日
大河津分水講演会2016-I（後援）
場 所／燕市内
内 容／「あらためて、横田切れを振り返る」
樋口 勲 氏
（信濃川大河津資料館友の会理事）
「信濃川の洪水：江戸、明治期以来をたどり、将来を考える」
早川 典生 氏
（信濃川大河津資料館友の会理事長）
「関東・東北水害から信濃川下流域（新潟平野）が教訓とすべき事」
安田 浩保 氏
（新潟大学 災害・復興科学研究所 准教授）
「大河津分水路の改修事業の概要」
南 健二 氏
（北陸地方整備局信濃川河川事務所計画課長）

平成28年11月14日
講師派遣
派遣先／（一財）新潟県建設技術センター
派遣数／1名

平成28年11月16日
北陸防災連絡会議
場 所／新潟市内
出席者／中俣副支部長

平成28年11月16日
第10回設計業務品質確保に関する研究会
場 所／北陸地方整備局
出席者／渡邊技術部会長、神田道路委員長、渡辺橋梁委員長、涌井河川及び砂防委員長、真嶋品質向上委員長

平成28年11月16日
建設業界合同事業説明会
場 所／長岡技術科学大学
出席者／小見都市計画委員長

平成28年11月16日
Made in 新潟（土木・建築）新技術展示・発表会（共催）
場 所／新潟市内
内 容／社会資本整備を支える建設新技術の紹介

平成28年11月18日
インフラ再生技術者育成新潟地域協議会第3回協議会
場 所／北陸技術事務所
出席者／寺本支部長

平成28年11月19日
講師派遣
派遣先／新潟大学農学部
派遣数／1名

平成28年11月24日
富山県景観づくりフォーラム2016（後援）
場 所／富山市内
内 容／表彰式
講演「景観まちづくりのすすめ」
講師 東京工業大学環境・社会理工学院
教授 中井 検裕 氏

平成28年11月28日
北陸土木コンクリート製品技術協会との意見交換会
場 所／新潟市内
出席者／北陸土木コンクリート製品技術協会 12名
（一社）建設コンサルタンツ協会北陸支部 12名

平成28年12月1日～2日
平成28年度河川技術現地検討会2（共催）
場 所／金沢市内
内 容／現地検討会 梯川旧堤撤去に関する現地調査、
状況確認
合同勉強会「梯川旧堤の物理探査結果及び阿賀野
川堤防調査結果報告について」
講師 国立研究開発法人土木研究所
主任研究員 石原 雅規 氏
「気候変化が洪水に及ぼす影響」
講師 金沢大学理工研究域 谷口 准教授

平成28年12月4日
大河津分水講演会2016-II（後援）
場 所／新潟市内
内 容／「大洪水の危機性と大河津分水路工事の重要性」
福岡 捷二 氏（中央大学研究開発機構教授）
「信濃川における洪水の記録と大洪水の危険性についての一考察」
早川 典生 氏
（信濃川大河津資料館友の会理事長）
「今に生きる2000年前の分水、都江堰に学ぶ」
陸 旻皎 氏（長岡技術科学大学教授）
「想定最大規模の降雨による洪水の浸水想定区域の意味するもの」
井上 清敬 氏
（北陸地方整備局信濃川下流河川事務所長）

平成28年12月5日
平成28年度第4回役員会
場 所／新潟市内
議 事 協会本部定例運営会議等報告 他

平成28年12月5日
本部木谷顧問講演会
場 所／新潟市内
演 題／「建設コンサルタントを巡る課題と今後の方向」
（一社）建設コンサルタンツ協会
顧問 木谷 信之 氏
参加者／102名

平成28年12月7日
「行政&企業」建設業界説明会
場 所／新潟大学
対 応 伊藤品質向上委員

平成28年12月7日
白山地域における環境保全と災害対策に関する技術講演会
場 所／金沢市内
内 容／「白山ユネスコエコパーク拡張登録と自然の魅力」
白山ユネスコエコパーク協議会
事務局員（コーディネーター）
中村 真介 氏
「手取川上流の土砂崩壊地の現状と対策」
近畿中国森林管理局石川森林管理署
署長 小林 伸一 氏
統括治山技術官 宮本 政澄 氏

平成28年12月12日
平成28年度第3回新技術活用評価会議
場 所／北陸地方整備局
出席者／涌井河川及び砂防委員長

平成28年12月12日
担い手確保育成協議会石川県部会PR活動
場 所／金沢大学
対 応 笹谷支部理事、高島 智佳子 氏

平成28年12月13日
平成28年度第5回役員会
場 所／新潟市内
内 容／平成29年度事業計画及び予算について

平成28年12月13日
北陸地方整備局との意見交換会
場 所／新潟市内
出席者／北陸地方整備局 渡辺企画部長 他6名
北陸支部 寺本支部長 他21名

平成28年12月14日
北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会石川県部会
場 所／金沢河川国道事務所
出席者／新家副支部長

平成28年12月20日
建設技術報告会第2回実行委員会

場 所／新潟国道事務所
出席者／高橋広報委員長

平成28年12月21日
北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会富山県部会

場 所／富山河川国道事務所
出席者／吉田副支部長

平成28年12月22日
社会貢献活動 土木出張PR

場 所／出雲崎町出雲崎中学校
対応者／高橋広報委員長、須藤会誌委員長

平成29年1月16日
第15回社会資本整備セミナー（共催）

場 所／新潟市内
内 容／演題「最近の国土交通行政の取り組みについて」
講師 北陸地方整備局 企画部
技術調整管理官 倉重 毅 氏
演題「歴史に学ぶ社会資本整備」
講師（一財）全国建設研修センター
事業推進室特任専門役
土木広報センター会社
インフラ解説グループ長
土木史広報小委員会委員長
緒方 英樹 氏

平成29年1月17日
北陸・女性コンサルタント技術者懇談会

場 所／新潟市内
出席者／北陸地方整備局 高島地方事業評価管理官 他
北陸支部 11名

平成29年1月17日
北陸・管理技術者懇談会

場 所／新潟市内
出席者／北陸地方整備局 高島地方事業評価管理官 他7名
北陸支部 11名（オブザーバー11名）

平成29年1月17日
社会貢献活動 土木出張PR

場 所／堀之内中学校
対応者／高橋広報委員長、猪俣会誌委員

平成29年1月18日
第15回社会資本整備セミナー（共催）

場 所／長野市内
内 容／演題「最近の国土交通行政の取り組みについて」
講師 北陸地方整備局 企画部
技術開発調整官 鈴木 和弘 氏
演題「歴史に学ぶ社会資本整備」
講師（一財）全国建設研修センター
事業推進室特任専門役
土木広報センター会社
インフラ解説グループ長
土木史広報小委員会委員長
緒方 英樹 氏

平成29年1月19日
Made in 新潟（土木・建築）説明会 in 上中下越（共催）

場 所／上越市内
内 容／社会資本整備を支える建設新技術の紹介

平成29年1月19日
平成28年度「防災とボランティア週間」防災講演会（後援）

場 所／富山市内
内 容／講演 防災における最近の課題と取り組み
講師 富山河川国道事務所長 福濱 方哉 氏
講演 熊本地震に学ぶ北陸の地震防災
講師 金沢大学理工研究域環境デザイン学系
教授 宮島 昌克 氏

平成29年1月23日
i-Construction実践セミナー（後援）

場 所／新潟市内
内 容／講演 北陸地方整備局の「ICT活用工事」の動向
北陸地方整備局企画部
講演 新潟県における「ICT活用工事」の発注状況と今後
新潟県土木部
講演 石川県における「ICT活用工事」の発注状況と今後
石川県土木部
講演「ICT活用工事」第1号 北海道・株式会社砂子組の取り組み北海道千歳市道央圏連絡道路泉郷改良工事
株式会社砂子組
ICT施工推進室長 真坂 紀至 氏
講演「ICT活用工事」第1号 福島・会津土建株式会社
株式会社の取り組み
島県会津坂下町 宮古弱小堤対策工事
会津土建株式会社 現場担当者
連載記事『挑戦i-Construction』のご紹介
日刊建設通信新聞社 電子メディア局
田中 一博 氏

平成29年1月25日
社会貢献活動 土木出張PR

場 所／広神中学校
対応者／高橋広報委員長、須藤会誌委員長

平成29年1月25日
河川情報センター講演会（後援）

場 所／新潟市内
内 容／講演「越後平野における治水の課題とその解決の方向性」
新潟大学 災害・復興科学研究所
准教授 安田 浩保 氏
講演「水防災意識社会再構築に向けた実践的取り組み」
北陸地方整備局
阿賀野川河川事務所長 石川 俊之 氏

平成29年1月26日
Made in 新潟（土木・建築）説明会 in 上中下越（共催）

場 所／新潟市内
内 容／社会資本整備を支える建設新技術の紹介

平成29年1月26日

第15回社会資本整備セミナー（共催）

場 所／金沢市内

内 容／演題「最近の国土交通行政の取り組みについて」

講師 北陸地方整備局 企画部

地方事業評価管理官 高島 和夫 氏

演題「歴史に学ぶ社会資本整備」

講師（一財）全国建設研修センター

事業推進室特任専門役

土木広報センター会社

インフラ解説グループ長

土木史広報小委員会委員長

緒方 英樹 氏

平成29年1月27日

第15回社会資本整備セミナー（共催）

場 所／富山市内

内 容／演題「最近の国土交通行政の取り組みについて」

講師 北陸地方整備局 企画部

地方事業評価管理官 高島 和夫 氏

演題「歴史に学ぶ社会資本整備」

講師（一財）全国建設研修センター

事業推進室特任専門役

土木広報センター会社

インフラ解説グループ長

土木史広報小委員会委員長

緒方 英樹 氏

平成29年1月27日

“いい川”づくり研修会 in 新潟（後援）

場 所／新潟市内

内 容／講座1 日本人の伝統的自然観と“いい川”づくり

NPO法人新潟水辺の会

顧問 大熊 孝 氏

講座2 多自然川づくりの理念と技術

（株）吉村伸一流域計画室

吉村 伸一 氏

講座3 岐阜県における“いい川”づくり推進制度

岐阜県県土整備部河川課

講座4 川と人、その付き合いのあり方を考える

－NPO法人活動－

長岡技術科学大学

名誉教授 早川 典夫 氏

講座5 用排水路網を活用した水田生態系の戦略

的再生ビジョン

新潟大学農学部 教授 関島 恒夫 氏

平成29年1月31日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

場 所／北陸地方整備局

出席者／寺本支部長

平成29年1月31日

インフラ再生技術者育成新潟地域協議会第5回幹事会

場 所／北陸技術事務所

出席者／渡邊技術部会長

平成29年2月1日

ICT活用普及促進検討会

場 所／北陸地方整備局

出席者／須佐 慎 氏、渡邊 敦 氏、山崎 茂和 氏

平成29年2月2日

Made in 新潟（土木・建築）説明会 in 上中下越（共催）

場 所／見附市内

内 容／社会資本整備を支える建設新技術の紹介

平成29年2月2日

北陸地方建設事業推進協議会工事施工対策部会

場 所／北陸地方整備局

出席者／神田道路委員長

平成29年2月2日

北陸地方建設事業推進協議会新施策促進普及部会

場 所／北陸地方整備局

出席者／渡邊技術部会長

平成29年2月3日

北陸地方建設事業推進協議会建設情報広報部会

場 所／北陸地方整備局

出席者／高橋広報委員長

平成29年2月3日

「行政&企業」建設業界説明会

場 所／長岡技術科学大学

対 応 松尾若手技術者WG委員

平成29年2月8日

北陸防災連絡会議第1回専門部会

場 所／北陸地方整備局

出席者／青木総括部会長

平成29年2月9日

平成28年度第6回役員会

場 所／新潟市内

議 事 当面する支部課題等について 他

平成29年2月9日

協会本部との意見交換会

場 所／新潟市内

議 事 平成29年度要望と提案について 他

平成29年2月13日

インフラメンテナンス連携シンポジウム in 新潟（後援）

場 所／新潟市内

内 容／演題「地域で取り組むインフラ施設の長寿命化」

講師 長岡技術科学大学 工学部

教授 大塚 悟 氏

パネルディスカッション

「産学官民の連携によるインフラ維持と地域活性化」

平成29年2月14日

大学等PR活動（説明会）

場 所／金沢大学

対応者／今度トンネル委員長、麻田トンネル委員

平成29年2月16日
会誌「雪の音」Vol.129号発刊
担当／広報部会 会誌編集委員会

平成29年2月16日
独占禁止法等遵守に関する講習会
場 所／新潟市内
内 容／独占禁止法を主とした法律説明について
平山勝也法律事務所 弁護士 平山 勝也 氏
発注者との関わりの社内研修資料について
(一社) 建設コンサルタンツ協会
独禁法に関する委員会 委員 西潟 常夫 氏
参加者／67名

平成29年3月2日
けんせつフェア北陸 in 新潟2017 (仮称) 第1回実行
委員会
場 所／北陸地方整備局
対応者／高橋広報委員長

平成29年3月3日
平成28年度第4回北陸地方整備局新技術活用評価会議
場 所／北陸地方整備局
対応者／涌井河川及び砂防委員長

平成29年3月3日
富山県との意見交換会
場 所／富山市内
出席者／富山県 村岡土木部次長 10名他
北陸支部 吉田富山地域委員長 9名他

平成29年3月15日
平成28年度北陸ICT戦略推進委員会
場 所／北陸地方整備局
対応者／渡邊技術部会長

平成29年3月23日
i-Constructionセミナー in 北陸 (後援)
場 所／新潟市内
内 容／講演 i-Constructionの推進について
北陸地方整備局建政部長 岩見 吉輝 氏
講演 情報化施工からi-Constructionへ
(一社) 日本建設機械施工協会
施工技術総合研究所
研究第三部次長 藤島 崇 氏

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 北陸支部
会 員 名 簿

会 社 名	事業所名	住 所	電話番号 FAX番号
朝日航洋(株)	北陸空情支社	950-0088 新潟市中央区万代2-3-6 新潟東京海上日動ビル2F	025-249-1150 025-249-1155
旭調査設計(株)		950-0908 新潟市中央区幸西1-1-11	025-245-8345 025-245-8349
アジア航測(株)	新潟営業所	950-0087 新潟市中央区東大通2-3-28 パーク新潟東大通ビル	025-243-3246 025-247-7969
(株)アスコ大東	新潟支店	950-0087 新潟市中央区東大通1-3-8 明治安田生命新潟駅前ビル5F	025-246-1320 025-247-3740
(株)アルゴス		944-0009 妙高市東陽町1-1	0255-72-3448 0255-72-9426
アルスコンサルタンツ(株)		920-0362 金沢市古府2-76	076-248-4004 076-248-4174
いであ(株)	北陸支店	950-0087 新潟市中央区東大通2-5-1 カープ新潟ビル8F	025-241-0283 025-243-5650
(株)エイト日本技術開発	新潟事務所	950-0087 新潟市中央区東大通2-1-20 ステーションプラザ新潟ビル8F	025-256-8611 025-256-8612
エヌシーイー(株)		950-0954 新潟市中央区美咲町1-7-25	025-285-8540 025-285-3531
大原技術(株)		940-0856 長岡市美沢3-511	0258-35-4511 0258-36-3254
応用地質(株)	新潟支店	950-0864 新潟市東区紫竹7-27-35	025-274-5656 025-271-6765
(株)オリエンタルコンサルタンツ	北陸支店	950-0087 新潟市中央区東大通2-3-26 プレイス新潟4F	025-244-7881 025-244-7387
開発技建(株)		950-0914 新潟市中央区紫竹山7-13-16	025-245-7131 025-245-7132
(株)開発技術コンサルタント		951-8133 新潟市中央区川岸町3-33-3	025-233-0204 025-233-6465
川崎地質(株)	北陸支店	950-0914 新潟市中央区紫竹山5-7-5	025-241-6294 025-241-6226
北建コンサル(株)		933-0941 高岡市内免3-3-6	0766-23-3666 0766-23-3987
(株)キタック		950-0965 新潟市中央区新光町10-2	025-281-1111 025-281-0002
(株)協和		933-0838 高岡市北島1406	0766-22-2100 0766-22-7602
(株)クリエイトセンター		951-8133 新潟市中央区川岸町2-8-1	025-232-7121 025-232-7130
(株)クレアリア	新潟営業所	950-0916 新潟市中央区米山4-2-16 キャッスル米山	025-248-2205 025-248-2206

会社名	事業所名	住所	電話番号 FAX番号
(株)計画情報研究所		920-0025 金沢市駅西本町2-10-6	076-223-5445 076-223-4144
(株)建成コンサルタント		933-0014 高岡市野村284-1	0766-25-6097 0766-25-5697
建設技研コンサルタンツ(株)		933-0007 高岡市角602-1	0766-21-6126 0766-21-6192
(株)建設環境研究所	新潟支店	950-0965 新潟市中央区新光町6-1 興和ビル7F	025-285-6437 025-280-9750
(株)建設技術研究所	北陸支社	950-0088 新潟市中央区万代4-4-27 NBF新潟テレコムビル	025-245-3883 025-241-9082
(株)建設技術センター	新潟営業所	950-0028 新潟市東区小金台9-9 202号室	025-250-8002 025-250-8004
(株)構造技研新潟		950-0932 新潟市中央区長潟1204-2	025-288-6800 025-288-6824
国際航業(株)	新潟支店	950-0087 新潟市中央区東大通2-3-26 プレイス新潟	025-247-0318 025-241-4146
(株)国土開発センター		921-8033 金沢市寺町3-9-41	076-247-5080 076-247-5090
国土防災技術(株)	新潟支店	950-2042 新潟市西区坂井1035-1	025-260-2245 025-260-7522
五大開発(株)		921-8051 金沢市黒田1-35	076-240-6588 076-240-6575
サンコーコンサルタント(株)	北陸支店	950-2055 新潟市西区寺尾上4-4-15	025-260-3141 025-268-4950
(株)上智		939-1351 砺波市千代176-1	0763-33-2085 0763-33-2558
(株)新日本コンサルタント		930-0142 富山市吉作910-1	076-436-2111 076-436-3050
相互技術(株)		950-0994 新潟市中央区上所2-11-14	025-283-0150 025-283-0152
大日本コンサルタント(株)	北陸支社	930-0175 富山市願海寺633	076-436-7855 076-436-6030
(株)ダイヤコンサルタント	北陸支店	950-2001 新潟市西区浦山4-1-24	025-234-2110 025-234-2111
館下コンサルタンツ(株)		939-3553 富山市水橋的場234	076-478-0090 076-478-1190
中央開発(株)	北陸支店	950-0982 新潟市中央区堀之内南3-1-21 北陽ビル	025-283-0211 025-283-0212
(株)中部コンサルタント		933-0866 高岡市清水町3-5-9	0766-21-4536 0766-22-4370
(株)長大	北陸事務所	950-0965 新潟市中央区新光町6-1 興和ビル6F	025-288-0271 025-288-0273
(株)千代田コンサルタント	新潟営業所	950-0911 新潟市中央区笹口1-19-31	025-244-8445 025-249-4776

会社名	事業所名	住所	電話番号 FAX番号
(株)東京建設コンサルタント	北陸支社	950-0087 新潟市中央区東大通1-2-23 北陸ビル	025-248-3870 025-248-3877
東京コンサルタンツ(株)	新潟支店	950-0912 新潟市中央区南笹口1-1-12 クラスターナインビル8F	025-246-1827 025-246-7463
(株)東北開発コンサルタント	新潟営業所	950-0154 新潟市江南区荻曾根1-5-15	025-382-6106 025-381-3144
(株)東洋設計		920-0016 金沢市諸江町中丁212-1	076-233-1124 076-233-1224
ナチュラルコンサルタント(株)		921-8066 金沢市矢木2-147	076-246-1170 076-246-4493
(株)ナルサワコンサルタント		950-0964 新潟市中央区綱川原1-21-11	025-282-2070 025-284-7993
(株)日本海コンサルタント		921-8042 金沢市泉本町2-126	076-243-8258 076-243-0887
日本工営(株)	新潟支店	950-0962 新潟市中央区出来島1-11-28	025-280-1701 025-283-0898
(株)日本港湾コンサルタント	北陸事務所	950-0087 新潟市中央区東大通2-5-8	025-243-0431 025-241-1806
(株)ニュージェック	北陸支店	950-0911 新潟市中央区笹口2-10-1 WIN21 4F	025-243-4471 025-243-4472
パシフィックコンサルタンツ(株)	北陸支社	950-0917 新潟市中央区天神1-1 プラーカ3 6F	025-247-1341 025-246-1005
(株)パスコ	新潟支店	950-0916 新潟市中央区米山3-1-63	025-243-0051 025-241-8654
(株)プラネット・コンサルタント		920-0353 金沢市赤土町ト95-1	076-268-1206 076-268-1207
北電技術コンサルタント(株)		930-0858 富山市牛島町13-15	076-432-9936 076-432-4280
北陸コンサルタント(株)		939-8213 富山市黒瀬192	076-493-7717 076-493-7720
三井共同建設コンサルタント(株)	北陸事務所	950-0087 新潟市中央区東大通2-5-8 東大通野村ビル	025-244-2503 025-244-2573
(株)村尾技建		950-0948 新潟市中央区女池南2-4-17	025-284-6100 025-283-0368
明治コンサルタント(株)	北陸支店	950-2002 新潟市西区青山1-1-22	025-265-1122 025-265-1126
八千代エンジニアリング(株)	北陸支店	950-0088 新潟市中央区万代1-1-1 朝日生命新潟ビル	025-243-5454 025-243-5883
(一社) 北陸地域づくり協会		950-0197 新潟市江南区亀田工業団地2-3-4	025-381-1020 025-383-1205
(一財) 新潟県建設技術センター		950-1101 新潟市西区山田2522-18	025-267-4804 025-267-4854

各部会・委員会委員名簿

北陸支部役員			
支部理事	支部長	寺本 邦一	開発技建(株)
〃	副支部長	大平 豊	エヌシーイー(株)
〃	副支部長	山本 信二	大日本コンサルタント(株)
〃	副支部長	新家 久司	(株)国土開発センター
〃	運営委員長	坂上 悟	開発技建(株)
〃	運営委員	黒木 康生	(株)日本海コンサルタント
〃	運営委員	瀬川 光太郎	(株)建成コンサルタント
〃	運営委員	原 文宏	(株)建設技術研究所
〃	運営委員	青木 和之	エヌシーイー(株)
〃	運営委員	齊木 勝	(株)キタック
〃	運営委員	笹谷 輝彦	(株)国土開発センター
支部監事	支部監事	高堂 景寿	相互技術(株)
〃	支部監事	船谷 喜代文	旭調査設計(株)

独占禁止法の遵守に関する特別部会			
	部会長	寺本 邦一	開発技建(株)
	部会員	大平 豊	エヌシーイー(株)
	部会員	山本 信二	大日本コンサルタント(株)
	部会員	新家 久司	(株)国土開発センター
	部会員	齋藤 真晴	開発技建(株)
	部会員	小見 直樹	エヌシーイー(株)
	部会員	泉 英樹	大日本コンサルタント(株)
	部会員	笹谷 輝彦	(株)国土開発センター

対外活動部会			
	部会長	寺本 邦一	開発技建(株)
	部会員	大平 豊	エヌシーイー(株)
	部会員	山本 信二	大日本コンサルタント(株)
	部会員	新家 久司	(株)国土開発センター
	部会員	中俣 孝	(株)構造技研新潟
	部会員	田中 義明	大日本コンサルタント(株)
	部会員	長森 孝司	(株)日本海コンサルタント
	部会員	矢田 弘	(株)東京建設コンサルタント
	部会員	渡部 長務	エヌシーイー(株)
	部会員 幹事	坂上 悟	開発技建(株)

新潟地域委員会	委員長	中 俣 孝	(株)構造技研新潟
〃	委員	山 岸 守	開発技建(株)
〃	委員	船 谷 喜代文	旭調査設計(株)
〃	委員	齊 木 勝	(株)キタック
〃	委員	大 塚 明	エヌシーイー(株)
〃	委員	折 笠 昇	(株)開発技術コンサルタント
富山地域委員会	委員長	山 本 信 二	大日本コンサルタント(株)
〃	委員	田 中 義 明	大日本コンサルタント(株)
〃	委員	竹 腰 直 治	北建コンサル(株)
〃	委員	吉 田 勉	(株)上智
〃	委員	泉 英 樹	大日本コンサルタント(株)
〃	委員	榮 知 之	北陸コンサルタント(株)
石川地域委員会	委員長	新 家 久 司	(株)国土開発センター
〃	委員	高 嶋 智 晴	(株)国土開発センター
〃	委員	長 森 孝 司	(株)日本海コンサルタント

総括部会			
	部会長	青 木 和 之	エヌシーイー(株)
	部会員	佐 藤 浩	(株)開発技術コンサルタント
	部会員	清 原 宏 二	開発技建(株)
	部会員	泉 英 樹	大日本コンサルタント(株)
	部会員	浦 正 光	(株)日本海コンサルタント
	部会員	佐 藤 雄 一	(株)構造技研新潟

技術部会			
	部会長	渡 邊 雅 樹	開発技建(株)
道路委員会	委員長	神 田 和 久	開発技建(株)
〃	委員	木 村 浩	エヌシーイー(株)
〃	委員	首 藤 直 樹	(株)クリエイトセンター
〃	委員	木 下 裕 康	(株)国土開発センター
〃	委員	古 池 豊	大日本コンサルタント(株)
〃	委員	藤 本 勇 一	(株)東洋設計
〃	委員	池 渕 稔	東京コンサルタンツ(株)
橋梁委員会	委員長	渡 辺 正 三	大日本コンサルタント(株)
〃	委員	近 藤 治	開発技建(株)
〃	委員	渡 邊 敦	エヌシーイー(株)
〃	委員	大 竹 滋	(株)キタック
〃	委員	南 雲 浩	(株)構造技研新潟
〃	委員	浦 修 造	(株)国土開発センター
〃	委員	鷹 西 輝	(株)東洋設計
〃	委員	寺 田 直 樹	(株)開発技術コンサルタント

河川及び砂防委員会	委員長	須田 玲	エヌシーイー(株)
〃	委員	阿左美 敏和	(株)建設技術研究所
〃	委員	西川 幸成	(株)国土開発センター
〃	委員	浜谷 智	五大開発(株)
〃	委員	太原 晶	大日本コンサルタント(株)
〃	委員	坂上 松則	開発技建(株)
〃	委員	金子 幸生	相互技術(株)
〃	委員	伊藤 正喜	(株)開発技術コンサルタント
トンネル委員会	委員長	今度 充之	東京コンサルタンツ(株)
〃	委員	須貝 浩	エヌシーイー(株)
〃	委員	麻田 正弘	アルスコンサルタンツ(株)
〃	委員	江川 千洋	(株)キタック
〃	委員	雪田 真吾	サンコーコンサルタント(株)
〃	委員	辻本 勝彦	(株)国土開発センター
都市計画委員会	委員長	小見 直樹	エヌシーイー(株)
〃	委員	佐藤 吉一	開発技建(株)
〃	委員	荘司 洋文	(株)キタック
〃	委員	新田川 貴之	(株)国土開発センター
〃	委員	酒井 信次	大日本コンサルタント(株)
〃	委員	埴 正浩	(株)日本海コンサルタント
建設環境委員会	委員長	佐藤 朗	開発技建(株)
〃	委員	稲葉 弘之	アルスコンサルタンツ(株)
〃	委員	若尾 明弘	エヌシーイー(株)
〃	委員	高橋 靖	大日本コンサルタント(株)
〃	委員	西 暢人	(株)日本海コンサルタント
〃	委員	平野 博範	(株)国土開発センター
〃	委員	藤巻 英俊	大原技術(株)
品質向上委員会	委員長	真嶋 利寿	エヌシーイー(株)
〃	委員	伊藤 信哉	開発技建(株)
〃	委員	森 将恒	(株)キタック
〃	委員	西村 治	大日本コンサルタント(株)
〃	委員	若林 修	東京コンサルタンツ(株)
〃	委員	野村 尚樹	(株)日本海コンサルタント
〃	委員	山森 茂明	(株)クリエイティブセンター
〃	委員	高橋 辰夫	(株)開発技術コンサルタント
情報委員会	委員長	樋浦 慎	開発技建(株)
〃	委員	岩淵 和有	エヌシーイー(株)
〃	委員	大塚 秀行	(株)キタック
〃	委員	加藤 毅	(株)クリエイティブセンター
〃	委員	渡辺 浩二	大日本コンサルタント(株)
〃	委員	安藤 正幸	(株)日本海コンサルタント

若手技術者ワーキンググループ	リーダー	竹 内 聡	開発技建(株)
〃	サブリーダー	片 岸 将 広	(株)日本海コンサルタント
〃	委 員	七 郎 丸 一 孝	(株)国土開発センター
〃	委 員	伊 藤 裕 章	大日本コンサルタント(株)
〃	委 員	松 尾 内 助	(株)キタック
〃	委 員	山 田 知 広	(株)建成コンサルタント
〃	委 員	福 崎 正 和	(株)構造技研新潟
〃	委 員	風 間 恵	相互技術(株)
〃	委 員	飯 野 美 樹	エヌシーイー(株)

広 報 部 会			
	部会長	佐々木 大 介	(株)ナルサワコンサルタント
広報委員会	委員長	高 橋 邦 夫	開発技建(株)
〃	委 員	浜 辺 良 彦	相互技術(株)
〃	委 員	今 野 健	エヌシーイー(株)
〃	委 員	高 橋 宏 明	開発技建(株)
〃	委 員	飯 田 互	(株)開発技術コンサルタント
〃	委 員	坂 原 徹	大日本コンサルタント(株)
〃	委 員	大 蔵 欣 司	(株)建成コンサルタント
〃	委 員	島 由 治	アルスコンサルタンツ(株)
〃	委 員	新 家 哲 平	(株)国土開発センター
〃	委 員	芳 野 夏 輔	(株)建設技術研究所
〃	委 員	国 兼 功	八千代エンジニアリング(株)
会誌編集委員会	委員長	須 藤 勝 彦	(株)国土開発センター
〃	委 員	熊 倉 孝 次	(株)クリエイティブセンター
〃	委 員	齋 藤 浩 幸	(株)キタック
〃	委 員	長 田 宏 之	大日本コンサルタント(株)
〃	委 員	水 野 慎 介	(株)日本海コンサルタント

災 害 対 策 部 会			
	部会長	寺 本 邦 一	開発技建(株)
新潟現地対策本部	本部長	寺 本 邦 一	開発技建(株)
〃	副本部長	大 平 豊	エヌシーイー(株)
〃	技術総括指揮者	高 橋 邦 夫	開発技建(株)
〃	副責任者	木 村 幸 雄	開発技建(株)
富山現地対策本部	本部長	寺 本 邦 一	開発技建(株)
〃	副本部長	山 本 信 二	大日本コンサルタント(株)
〃	技術総括指揮者	渡 辺 正 三	大日本コンサルタント(株)
〃	副責任者	林 達 夫	大日本コンサルタント(株)
石川現地対策本部	本部長	寺 本 邦 一	開発技建(株)
〃	副本部長	新 家 久 司	(株)国土開発センター
〃	技術総括指揮者	笹 谷 輝 彦	(株)国土開発センター
〃	副責任者	西 川 幸 成	(株)国土開発センター

顧 問			
		藤 卷 俊 二	開発技建(株)

編集後記

“愛犬”、家にきて6年になる犬がいます。犬とは賢い動物と認識されています。

一部の情報や関連する情報から物事を理解したり、答えを導き出す高度な処理能力は、概念化能力を持つ人間だけが持っていると言われてきましたが、近年、犬にも高度な概念化能力を持っている、という事がわかってきたと言われていています。計算能力、エピソード記憶力、短期記憶力といったものです。到底そのような能力を持っているとは思えない愛犬ですが、ご飯を与える時、帰っても吠えません。必ずお風呂からあがると人の顔を見て吠えます。散歩も然り、食事中は一切吠えませんが、食べ終わると必ず吠えます。

単純な話ではありますが、考える能力と記憶というものをしっかり持った動物です。警察犬のように訓練を重ね、事件解決に一役かう等。皆様もどうですか。

犬以外にもたくさん一緒に生活されている動物がいると思います。いろいろな能力をまだまだ秘めているかもしれませんね。

この度、会誌編集委員となる事になりました。協会活動に励みます。よろしくお願い致します。

長田宏之

発行 / 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 北陸支部
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地1 興和ビル7階
TEL 025-282-3370 FAX 025-282-3371

会誌編集委員会

委員長 / 須藤勝彦

委員 / 齋藤浩幸 熊倉孝次 長田宏之 水野慎介



発行

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 北陸支部
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地1 興和ビル7階
TEL 025-282-3370 FAX 025-282-3371
<http://hr-jcca.jp/>